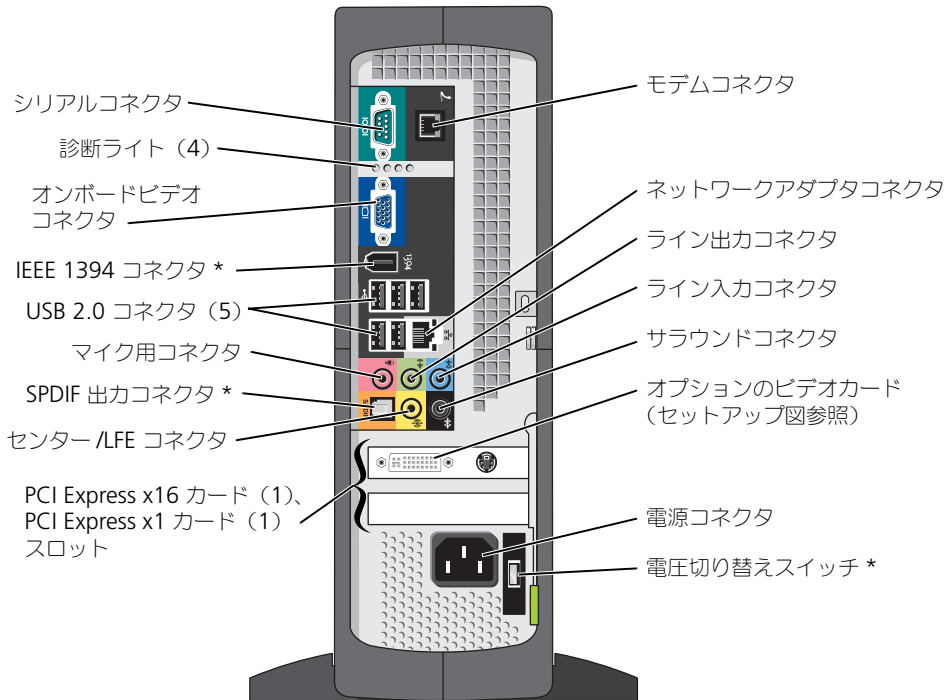
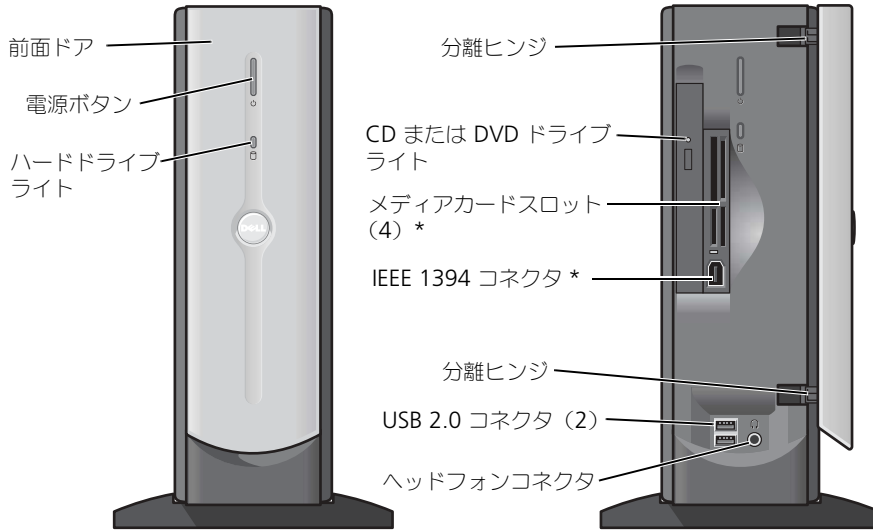


# Dell™ Dimension™ 4700C



モデル DHP

\* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

## メモ、注意、警告



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



**注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



**警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

---

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。

© 2004 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

このマニュアルに使用されている商標について： Dell、DELL のロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、DellNet、および PowerConnect は、Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は、Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Outlook は、Microsoft Corporation の登録商標です。

このマニュアルでは、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

### モデル DHP

2004 年 11 月

P/N J5949

Rev. A01

# 目次

情報の検索	7
1 コンピュータのセットアップと使い方	
<b>コンピュータスタンドの取り付けと取り外し</b>	<b>9</b>
<b>プリンタのセットアップ</b>	<b>10</b>
プリンタケーブル	11
USB プリンタの接続	11
<b>メディアカードリーダーの使い方</b>	<b>11</b>
<b>TV の接続</b>	<b>12</b>
画面設定の変更	13
<b>ホームネットワークおよびオフィスネットワークのセットアップ</b>	<b>13</b>
ネットワークアダプタへの接続	13
ネットワークセットアップウィザード	14
<b>インターネットへの接続</b>	<b>14</b>
インターネット接続のセットアップ	15
<b>CD または DVD の再生</b>	<b>16</b>
ボリュームの調整	18
画像の調整	18
<b>CD および DVD のコピー</b>	<b>18</b>
CD または DVD のコピー方法	18
空の CD-R、CD-RW、DVD+R、および DVD+RW の使用	19
役に立つヒント	19
<b>電力の管理</b>	<b>20</b>
スタンバイモード	20
休止状態モード	20
電源オプションのプロパティ	21
<b>ハイパースレディング</b>	<b>22</b>
2 問題の解決	
<b>トラブルシューティングのヒント</b>	<b>23</b>
<b>バッテリーの問題</b>	<b>23</b>
<b>ドライブの問題</b>	<b>23</b>

CD および DVD ドライブの問題 . . . . .	24
ハードドライブの問題 . . . . .	25
<b>E- メール、モデム、およびインターネットの問題 . . . . .</b>	<b>25</b>
<b>エラーメッセージ . . . . .</b>	<b>26</b>
<b>メディアカードリーダーの問題 . . . . .</b>	<b>27</b>
<b>IEEE 1394 デバイスの問題 . . . . .</b>	<b>27</b>
<b>キーボードの問題 . . . . .</b>	<b>28</b>
<b>ロックアップおよびソフトウェアの問題 . . . . .</b>	<b>28</b>
コンピュータが起動しない . . . . .	28
コンピュータが応答しない . . . . .	28
プログラムが応答しない . . . . .	29
プログラムが繰り返しクラッシュする . . . . .	29
プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに 設計されている . . . . .	29
画面が青色（ブルースクリーン）になった . . . . .	29
その他のソフトウェアの問題 . . . . .	30
<b>メモリの問題 . . . . .</b>	<b>30</b>
<b>マウスの問題 . . . . .</b>	<b>31</b>
<b>ネットワークの問題 . . . . .</b>	<b>31</b>
<b>電源の問題 . . . . .</b>	<b>32</b>
<b>プリンタの問題 . . . . .</b>	<b>33</b>
<b>スキャナーの問題 . . . . .</b>	<b>34</b>
<b>サウンドおよびスピーカーの問題 . . . . .</b>	<b>34</b>
スピーカーから音がしない場合 . . . . .	34
ヘッドフォンから音がしない場合 . . . . .	35
<b>ビデオとモニターの問題 . . . . .</b>	<b>35</b>
画面に何も表示されない場合 . . . . .	35
画面が見つからない場合 . . . . .	36

### 3   トラブルシューティングツール

<b>診断ライト . . . . .</b>	<b>37</b>
<b>Dell Diagnostics（診断）プログラム . . . . .</b>	<b>40</b>
Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合 . . . . .	40
Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー . . . . .	40

<b>ドライバ</b> . . . . .	<b>41</b>
ドライバとは? . . . . .	41
ドライバの識別 . . . . .	41
ドライバの再インストール . . . . .	42
<b>ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決</b> . . . . .	<b>43</b>
<b>オペレーティングシステムの復元</b> . . . . .	<b>43</b>
Microsoft Windows XP システムの復元の使い方 . . . . .	43

## 4 部品の取り外しと取り付け

<b>作業を開始する前に</b> . . . . .	<b>47</b>
奨励するツール . . . . .	47
コンピュータの電源を切る . . . . .	47
コンピュータ内部の作業を始める前に . . . . .	47
<b>コンピュータの正面および背面</b> . . . . .	<b>48</b>
正面図 . . . . .	48
背面図 . . . . .	50
<b>前面ドアの取り付け</b> . . . . .	<b>52</b>
<b>コンピュータカバーを開く</b> . . . . .	<b>53</b>
<b>コンピュータの内部</b> . . . . .	<b>54</b>
<b>システム基盤コンポーネント</b> . . . . .	<b>55</b>
<b>メモリ</b> . . . . .	<b>56</b>
DDR2 メモリの概要 . . . . .	56
4 GB 構成でのメモリのアドレス設定 . . . . .	57
メモリの取り付け . . . . .	57
メモリの取り外し . . . . .	59
<b>カード</b> . . . . .	<b>59</b>
PCI Express カード . . . . .	59
<b>メディアカードリーダー</b> . . . . .	<b>64</b>
メディアカードリーダーの取り外し . . . . .	64
メディアカードリーダーの取り付け . . . . .	65
<b>モデム</b> . . . . .	<b>67</b>
モデムの取り付け . . . . .	67
モデムケーブルと外付けモデムコネクタの交換 . . . . .	68
<b>バッテリー</b> . . . . .	<b>71</b>
バッテリーの取り付け . . . . .	71
<b>コンピュータカバーを閉じる</b> . . . . .	<b>72</b>

## 5 付録

<b>仕様</b> . . . . .	<b>73</b>
<b>セットアップユーティリティ</b> . . . . .	<b>77</b>
概要 . . . . .	77
セットアップユーティリティの起動 . . . . .	77
セットアップオプション . . . . .	79
起動順序 . . . . .	82
<b>忘れたパスワードの消去</b> . . . . .	<b>83</b>
<b>CMOS 設定のクリア</b> . . . . .	<b>84</b>
<b>コンピュータのクリーニング</b> . . . . .	<b>85</b>
コンピュータ、キーボード、および モニター . . . . .	85
マウス . . . . .	85
CD と DVD . . . . .	85
<b>デルへのお問い合わせ</b> . . . . .	<b>86</b>

索引 . . . . .	87
--------------	----

## 情報の検索

 **メモ:** 国によってはお使いのコンピュータに追加のマニュアルが同梱されている場合があります。

### 何をお探しですか？

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザーライセンス契約

### こちらをご覧ください

#### Dell™ 製品情報ガイド



- コンピュータのセットアップ方法

#### セットアップ図



- エクスプレスサービスコードおよびサービスタグ
- Microsoft® Windows® ライセンスラベル

#### エクスプレスサービスコードとプロダクトキーラベル



これらのラベルはお使いのコンピュータに貼られています。

- サービスタグは、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) をご参照の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。
- エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。エクスプレスサービスコードは、国によって利用できないことがあります。

---

**何をお探しですか？**

- コンピュータ用のドライバ
- テクニカルサービスおよびサポートに関する質問の回答
- コンピュータのマニュアル

- Windows XP の基本情報
- コンピュータのマニュアル
- デバイス（モデムなど）のマニュアル

**こちらをご覧ください****デルサポートウェブサイト — [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)**

**メモ：**国によって、すべての内容が利用できるとは限りません。

デルサポートサイトには、以下のツールを含むいくつかのオンラインツールがあります。

- ソリューション — トラブル解決ナビ、Q&A
- カスタマーケア — 問い合わせ先、ご注文の状況、保証、および修理に関する情報
- ダウンロード — ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート
- 参考資料 — コンピュータのマニュアル、製品仕様、およびホワイトペーパー

---

**Windows ヘルプとサポートセンター**

- 1 スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
  - 2 問題**に関連する用語やフレーズを検索ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
  - 3 表示**されているトピックをクリックします。
  - 4 画面**の指示に従います。
-



# コンピュータのセットアップと使い方

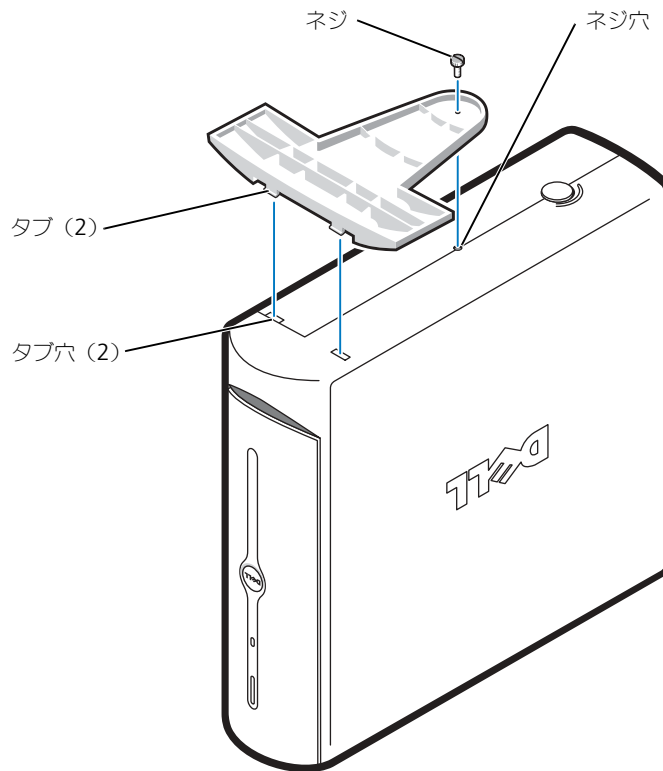
## コンピュータスタンドの取り付けと取り外し

**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**メモ**：トップカバーを傷付けないようコンピュータを柔らかい表面の上に置いてください。

スタンドを取り付けるには次の手順を実行します。

- 1 上下が逆になるようにコンピュータを置きます。
- 2 スタンドの底部にネジを差し込みます。
- 3 スタンドの2つのタブとネジを、コンピュータの底部にあるタブ穴とネジ穴に合わせます。



- 4 ネジを締めます。
- 5 コンピュータを元のように縦置きに置きます。



スタンドを取り外すには次の手順を実行します。

- 1 スタンドが上になるようにコンピュータを置きます。
- 2 ネジを緩めてスタンドを取り外します。
- 3 スタンドを再度取り付けるまでは、コンピュータを横置きに設置します。



## プリンタのセットアップ

**注意：**オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

次の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元へ連絡してテクニカルサポートを受ける

## プリンタケーブル

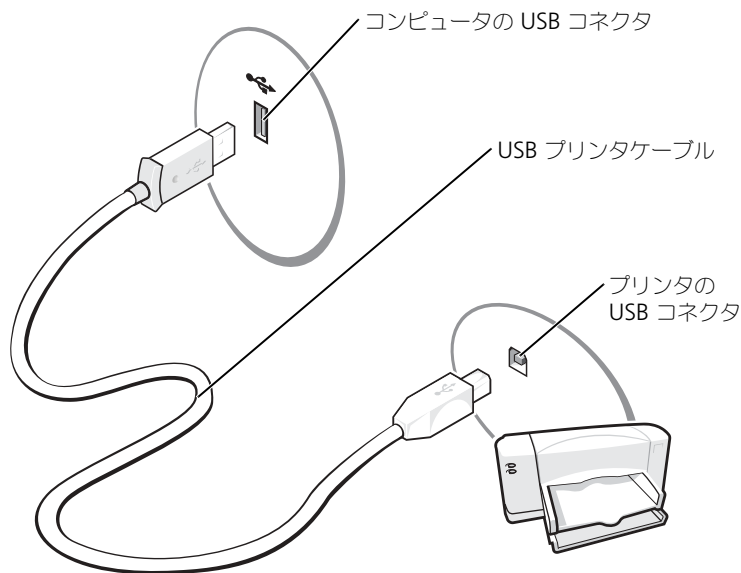
USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属していない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

## USB プリンタの接続



**メモ:** USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。
- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



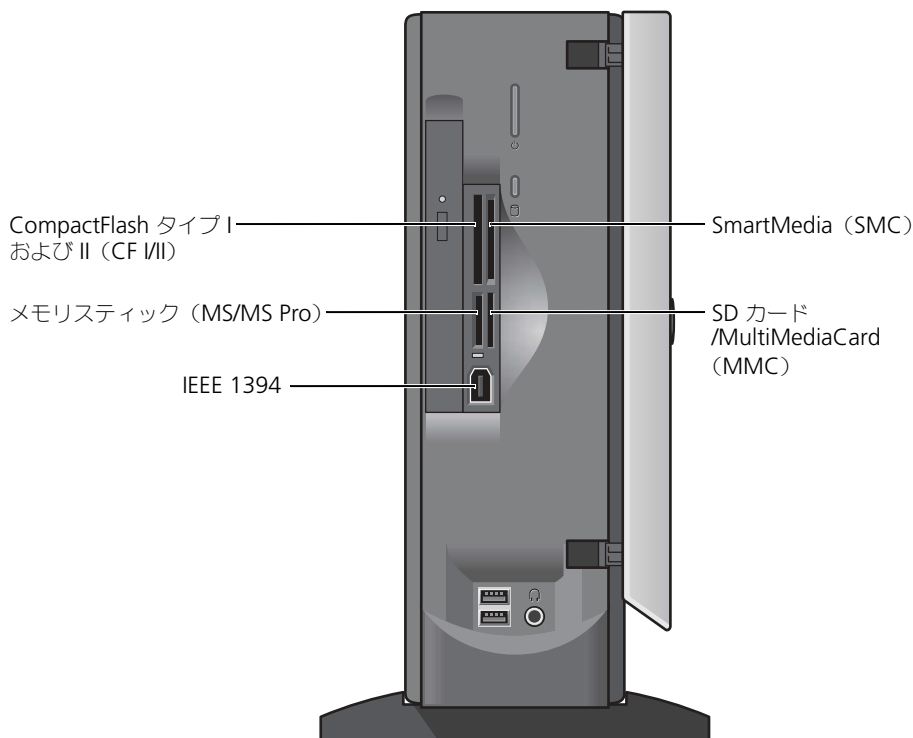
## メディアカードリーダーの使い方

メディアカードリーダーを使用して、データを直接コンピュータに転送します。

メディアカードリーダーは、以下のメモリタイプをサポートしています。

- CompactFlash タイプ I および II (CF I/II)
- SmartMedia (SMC)
- メモリスティック (MS/MS Pro)
- SD カード
- MultiMediaCard (MMC)

メディアカードリーダーの取り付け方法の詳細に関しては、「メディアカードリーダーの取り付け」( 65 ページ) を参照してください。



メディアカードリーダーを使用するには次の手順を実行します。

- 1 メディアまたはカードをチェックして、適切な挿入の方向を判断します。
- 2 メディアまたはカードを該当するスロットに差し込み、コネクタに完全に装着します。

メディアまたはカードがきちんと入らない場合、無理に押し込まないでください。カードの向きを確認して再度試してみてください。

## TV の接続

**メモ:** コンピュータに TV を接続するには、S ビデオケーブルを購入する必要があります。S ビデオケーブルは、ほとんどの電器店で購入できます。お使いのコンピュータには、S ビデオケーブルは付属していません。

- 1 「作業を開始する前に」( 47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 S ビデオケーブルの一端をコンピュータ背面のテレビ出力コネクタに接続します。

- 3 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに接続します。




## 画面設定の変更

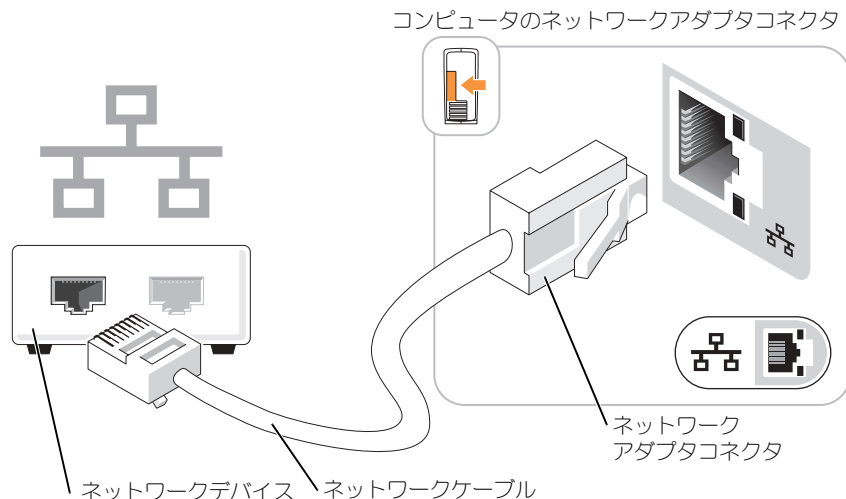
- 1 TV を接続し、コンピュータの電源をオンにします。  
Microsoft® Windows® デスクトップがモニターに表示されます。
- 2 画面設定で、クローンモードまたは拡張デスクトップモードを有効にします。
  - クローンモードでは、モニターおよび TV の両方に同じ画像が表示されます。
  - 拡張デスクトップモードでは、1 つの画面から別の画面にオブジェクトをドラッグして、表示できるスペースを 2 倍にすることができます。

お使いのグラフィックスカードの画面設定を変更するには、ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください（スタート ボタン、ヘルプとサポート、ユーザーズガイドおよびシステムガイド、デバイスガイド とクリックして、お使いのグラフィックスカードのガイドをクリックします）。

## ホームネットワークおよびオフィスネットワークのセットアップ

### ネットワークアダプタへの接続


-  **メモ:** ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタに差し込みます。ネットワークケーブルをコンピュータのモデムコネクタに差し込まないでください。ネットワークケーブルを壁の電話ジャックに差し込まないでください。
- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。  
ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。
  - 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。



## ネットワークセットアップウィザード


Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → 通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの**開始** の画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 ネットワーク作成の**チェックリスト** をクリックします。

 **メモ**：「インターネットに直接接続している」と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) またはそれ以降のオペレーティングシステムで提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

## インターネットへの接続

 **メモ**：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP (インターネットサービスプロバイダ) が必要です。ISP は、以下のインターネット接続オプションを 1 つまたは複数提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。

- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび電話ジャックに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順については、ご利用の ISP にお問い合わせください。

## インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップの **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。  
**新しい接続ウィザード** が表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
  - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
  - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
  - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

- 5 **次へ** をクリックします。

**接続を手動でセットアップする** を選んだ場合、手順 6 に進みます。そうでない場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了します。




**メモ**：どの種類の接続を選んだらいいかわからない場合、ご契約の ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか?** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、「E-メール、モデム、およびインターネットの問題」(25 ページ) を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみます。

## CD または DVD の再生

 **注意** : CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。


 **注意** : CD または DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。

- 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
- 2 トレイの中心に、ラベルの付いている面を上にしてディスクを置きます。
- 3 ディスクをトレイの中央の所定の位置にカチッと収まるまで押し込みます。



- 4 取り出しボタンを押すか、トレイを優しく押し込みます。









データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属している CD ソフトウェアを参照してください。

 **メモ** : CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。



CD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。








---

	再生
	現在のトラック内での巻き戻し
	一時停止
	現在のトラック内での早送り
	停止
	直前のトラックへ戻る
	取り出し
	次のトラックへ進む

---

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。


---

	停止
	再生
	早送り
	一時停止
	巻き戻し
	次の章へ進む
	前の章へ戻る

---

CD または DVD の再生については、CD または DVD プレーヤーの **ヘルプ**（利用可能な場合）をクリックしてください。

## ボリュームの調整

 **メモ:** スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **エンターテインメント** とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
- 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細に関しては、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

## 画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** にあるつまみをクリックしてドラッグし、**800 × 600 ピクセル** に設定します。
- 5 **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

## CD および DVD のコピー


 **メモ:** CD または DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-R、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

 **メモ:** Dell により提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。Sonic RecordNow を使用して、コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成することもできます。手順については、コンピュータに付属している Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックし、ヘルプまたはチュートリアルオプションをクリックします。

## CD または DVD のコピー方法

 **メモ:** DVD/CD-RW コンボドライブがあり、録音問題が生じた場合は、Sonic ウェブサイト [www.sonicjapan.co.jp](http://www.sonicjapan.co.jp) で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

現在、次の 5 種類の DVD 書き込み用ディスクフォーマットが利用可能です。DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW および DVD-RAM です。Dell™ コンピュータにインストールされている DVD 書き込み用ドライブは、DVD+R および DVD+RW メディアへの書き込み、DVD-R および DVD-RW メディアへの読み取りが可能です。ただし、DVD 書き込みドライブでは、DVD-RAM メディアへの書き込みはできません。また、読み込みもできないことがあります。さらに、市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、5 種類すべてのフォーマットが読み取れるとは限りません。



**メモ**：市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** の順にポイントして、**RecordNow!** をクリックします。
- 2 コピーする CD または DVD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブのいずれかをクリックします。
- 3 **バックアップ** をクリックします。
- 4 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
  - 光学ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD ディスクを読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにコピーします。  
プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD ディスクを光学ドライブに挿入して、**OK** をクリックします。
  - 光学ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD ディスクを入れたドライブを選択し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータは、CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。  
ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

## 空の CD-R、CD-RW、DVD+R、および DVD+RW の使用

空の CD-R は、音楽の保存やデータファイルを永久保存するのに使用します。CD-R ディスクの作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートを行うのに使用します。

お使いの DVD 書き込み可能ドライブは、CD-R および CD-RW（高速 CD-RW を含む）、DVD+R、および DVD+RW の 4 種類の違ったタイプの記録メディアに書き込みができます。空の DVD+R は、大量の情報を永久保存することができます。ただし、ディスクを作成するプロセスの最終段階で、そのディスクが「最終処理」または「クローズ」された場合は、DVD+R の作成後、そのディスクへの再書き込みができない可能性があります。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+RW を使用してください。

## 役に立つヒント

- Sonic RecordNow を開始し、RecordNow プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW ディスクにドラッグ&ドロップすることができます。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を焼き付けるには、CD-R ディスクを使用する必要があります。CD-RW はほとんどの自宅または車のステレオで再生することはできません。
- Sonic RecordNow を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。光学ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 または 2 MB を必要とします。

- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 詳細に関しては、Sonic サポートサイト [sonicjapan.co.jp](http://sonicjapan.co.jp) を参照してください。

## 電力の管理

Microsoft® Windows® XP の電源管理機能を使うと、電源の入っているコンピュータで操作していないときにコンピュータが消費する電力を節約することができます。モニターやハードドライブへの電力だけを節約することができたり、スタンバイモードや休止状態モードを使ってコンピュータ全体の電力を節約することもできます。コンピュータが省電力モードから通常の動作状態に戻ると、Windows デスクトップは省電力モードに入る前と同じ状態に戻ります。



**メモ** : Windows XP Professional には、Windows XP Home Edition では利用できないセキュリティおよびネットワーク機能が含まれています。Windows XP Professional が動作しているコンピュータがネットワークに接続されている場合、セキュリティおよびネットワークに関する特定のウィンドウでは、表示される項目が異なります。

### スタンバイモード

スタンバイモードは、タイムアウトになるとディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約します。スタンバイモードから終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないと自動的にスタンバイモードが起動するよう設定するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。

一定時間コンピュータを操作しない時間をおかずに、スタンバイモードをすぐに起動させるには、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。

スタンバイモードを終了するには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。



**注意** : スタンバイモードのときにコンピュータの電源が切れると、データを損失する恐れがあります。

### 休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。コンピュータが休止状態モードから通常の動作状態に戻ると、デスクトップは休止状態モードに入る前と同じ状態に戻ります。

休止状態モードを起動するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで休止状態の設定を行います。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしても、コンピュータは休止状態モードから復帰しません。これは、コンピュータが休止状態モードのときは、キーボードやマウスが動作しないためです。

休止状態モードでは、ハードドライブにコンピュータのメモリの内容を格納するための十分な空きディスク容量を確保する必要があります。お使いのコンピュータには、出荷前に適切な大きさの休止状態モードファイルが作成されています。コンピュータのハードドライブが破損した場合、Windows XP では休止状態ファイルを自動的に再作成します。

## 電源オプションのプロパティ

スタンバイモード設定、休止状態モード設定、およびその他の電源設定は、**電源オプションのプロパティ** ウィンドウで行います。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウを表示するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで電源設定を行います。

## 電源設定タブ

各標準の電源設定のことを、スキームと呼びます。お使いのコンピュータにプリインストールされている標準の Windows スキームを選択するには、**電源設定** ドロップダウンメニューから設定を選びます。各電源設定の下のフィールドに設定が表示されます。設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにする、モニターの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。

**電源設定** ドロップダウンメニューには以下のような電源設定が表示されます。

- **常にオン** (デフォルト) — 電力を節約しないでコンピュータをお使いになる場合は、この設定を選びます。
- **自宅または会社のデスク** — ご家庭または会社でお使いのコンピュータで最小限の省電力が必要な場合は、この設定を選びます。
- **ポータブル/ラップトップ** — 出張などでノートブックコンピュータをお使いの場合は、この設定を選びます。
- **プレゼンテーション** — 中断されることなく (省電力なしで) コンピュータをお使いになりたい場合、この設定を選びます。
- **最小の電源管理** — 最小限の省電力でコンピュータをお使いになりたい場合、この設定を選びます。
- **バッテリーの最大利用** — ノートブックコンピュータを長時間バッテリーでお使いになる場合は、この設定を選びます。


デフォルトの電源設定を変更する場合、**モニターの電源を切る**、**ハードディスクの電源を切る**、**システムスタンバイ**、または **システム休止状態** のフィールドにあるドロップダウンメニューをクリックし、表示された一覧からタイムアウトを選びます。設定フィールドのタイムアウトを変更すると、**名前を付けて保存** をクリックし、変更した設定に新しい名前を入力しない限り、その設定のデフォルト設定が変更されます。



**注意:** ハードドライブ（ハードディスク）がモニターより先にタイムアウトになるよう設定すると、コンピュータがロックされたように見えることがあります。通常の動作状態に戻すには、キーボードの任意のキーを押すか、マウスをクリックします。この問題を回避するには、モニターを常にハードドライブより前にタイムアウトになるよう設定します。

### 詳細設定タブ

**詳細設定** タブでは次のことができます。

- **Windows** タスクバーに電源オプションアイコン  を表示させ、素早く電源オプションアイコンにアクセスできるようにします。
- コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードを終了する前に、**Windows** のパスワードの入力を求めるようコンピュータを設定します。
- スタンバイモードまたは休止状態モードの起動、あるいはコンピュータの電源を切るよう、電源ボタンを設定します。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションをクリックして、**OK** をクリックします。

### 休止状態タブ

**休止状態** タブで、休止状態モードを有効にします。**電源設定** タブで設定した休止状態設定を使用する場合、**休止状態** タブで **休止状態を有効にする** チェックボックスをクリックします。

電源管理のオプションの詳細に関しては次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ヘルプとサポート** ウィンドウで、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **パフォーマンスとメンテナンス** ウィンドウで、**コンピュータの電力を節約する** をクリックします。

## ハイパースレディング

ハイパースレディングは Intel® テクノロジであり、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることでコンピュータ全体の性能を向上させるので、特定のタスクを同時に実行することができます。Windows XP は、ハイパースレディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレディングの恩恵を受けることになりませんが、ハイパースレディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合があります。アップデートやハイパースレディングでソフトウェアを使用する方法については、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレディングテクノロジーを使用しているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** 横の (+) サインをクリックします。ハイパースレディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、77 ページを参照してください。


## 問題の解決

### トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングを実行する際は、以下のヒントに従ってください。

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺機器が動作しない場合は、周辺機器が正しく接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を診断して修復するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

### バッテリーの問題

 **警告**：バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。交換するバッテリーは、メーカーが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**バッテリーの交換** —コンピュータを起動した後に日時の情報を繰り返しリセットしなければならない場合、またはスタートアップの際に間違った日時が表示される場合は、バッテリーを交換します（71 ページ参照）。交換してもバッテリーが正常に作動しない場合、デルにお問い合わせください（86 ページ参照）。

### ドライブの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**MICROSOFT® Windows® がドライブを認識しているか確認します** —スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピー、CD、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

#### ドライブをテストします —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

**メモ**：このシステムは、オプションの USB フロッピードライブをサポートしています。

**ドライブまたはディスクをクリーニングします** — 85 ページを参照してください。

**ケーブルの接続を確認します**

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 43 ページを参照してください。

**DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します** — 40 ページを参照してください。

## CD および DVD ドライブの問題



**メモ:** 高速 CD ドライブまたは DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。



**メモ:** 様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

### WINDOWS で音量を調整します —

- 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

**スピーカーとサブウーハーを確認します** — 「サウンドおよびスピーカーの問題」(34 ページ) を参照してください。

## CD/DVD-RW ドライブへの書き込み問題

**その他のプログラムを閉じます** — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

**CD/DVD-RW への書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします** — 省電力モードの詳細に関しては、20 ページを参照するか、または Windows ヘルプでスタンバイというキーワードを検索してください。



## ハードドライブの問題

### チェックディスクを実行します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

## E-メール、モデム、およびインターネットの問題



**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**メモ:** モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムは動作しません。

**MICROSOFT OUTLOOK<sup>®</sup> EXPRESS のセキュリティ設定を確認します —**E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

**電話線の接続を確認します —**

**電話ジャックを確認します —**

**モデムを直接電話ジャックに接続します —**

**他の電話線を使用してみます —**

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。(ジャックは緑色をしているかコネクタの絵柄の横にあります。)
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと感触があることを確認します。
- 電話線をモデムから取り外し、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サービプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、モデムを直接電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

**MODEM HELPER 診断プログラムを実行します —**スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。(Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。)

**モデムが Windows と通信しているか確認します —**

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
  - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
  - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
  - 4 **モデム** タブをクリックします。
  - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
  - 6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
- すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

**インターネットへの接続を確認します —**ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業**の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用の ISP にお問い合わせください。

## エラーメッセージ

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

**ファイル名には次の文字は使用できません： ¥ / : \* ? " < > |** — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

**.DLL ファイルが見つかりません** —アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 削除 ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムに付属しているマニュアルを参照してください。

**ドライブ文字：¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません** —ドライブがディスクを読み取ることができません。ディスクをドライブに挿入してもう一度アクセスします。

**起動用メディアを挿入します** —起動可能なフロッピーディスクまたは CD を挿入します。

**メモ**：このシステムは、オプションの USB フロッピードライブをサポートしています。

**非システムディスクエラーです** —ドライブからフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

**メモ**：このシステムは、オプションの USB フロッピードライブをサポートしています。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします —すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使うプログラムを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません —デルにお問い合わせください（86 ページを参照）。

## メディアカードリーダーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### ドライブ文字が割り当てられていません —

Microsoft Windows XP でメディアカードリーダーが検出されると、このデバイスには、システム内の他のすべての物理ドライブの後に、その次の論理ドライブとしてドライブ文字が自動的に割り当てられます。物理ドライブの後の次の論理ドライブがネットワークドライブにマッピングされた場合、Windows XP はメディアカードリーダーに自動的にドライブ文字を割り当てることはありません。

メディアカードリーダーに手でドライブを割り当てるには次の手順を実行します。

- 1 マイコンピュータを右クリックして **管理** を選択します。
- 2 **ディスクの管理** オプションを選択します。
- 3 右のペインで、変更する必要があるドライブ文字を右クリックします。
- 4 **ドライブ文字とパスの変更を選択します**。
- 5 ドロップダウンリストから、メディアカードリーダーに割り当てる新しいドライブ文字を選択します。
- 6 **OK** をクリックして、選択内容を確認します。

**メモ**：メディアカードリーダーは、接続されているときにだけ、マッピングされたドライブとして表示されます。4 つのメディアカードリーダーのスロットはそれぞれ、メディアが挿入されていなくてもドライブにマッピングされています。メディアが挿入されていないときにメディアカードリーダーにアクセスしようとすると、メディアを挿入するようプロンプトが表示されます。

## IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

IEEE 1394 デバイスのケーブルが、デバイスおよびコンピュータのコネクタに正しく差し込まれているか確認してください

### Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。  
IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

**DELL IEEE 1394 デバイスに問題がある場合** — デルにお問い合わせください（86 ページを参照）。  
**デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合** — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

## キーボードの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかり接続されているか確認します。
- キーボードケーブルをセットアップ図に示されているように接続しなおします。
- ケーブルコネクタのケーブルに、損傷や擦り切れた部分がないかチェックします。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

**キーボードを確認します** — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 43 ページを参照してください。

## ロックアップおよびソフトウェアの問題


 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### コンピュータが起動しない

**診断ライトを確認します** — 37 ページを参照してください。

**電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します**

### コンピュータが応答しない

 **注意：** オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

**コンピュータの電源を切ります** — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。その後、コンピュータを再起動します。

## プログラムが応答しない

### プログラムを終了します —

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 応答しなくなったプログラムをクリックします。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

## プログラムが繰り返しクラッシュする



**メモ**：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

**プログラムのマニュアルを参照します** —必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

## プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

### プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

## 画面が青色（ブルースクリーン）になった

**コンピュータの電源を切ります** —キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。その後、コンピュータを再起動します。

## その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- プログラムがお使いのコンピュータのオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細に関しては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルまたはプログラムを保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

## メモリの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（57 ページを参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし（57 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページを参照）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（57 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（56 ページを参照）。
- お使いのコンピュータは DDR2 メモリをサポートしています。コンピュータでサポートされているメモリのタイプについては、「メモリ」（73 ページ）を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページを参照）。

## マウスの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

マウスをクリーニングします — 85 ページを参照してください。

### マウスケーブルを確認します —

- 1 ケーブルコネクタのケーブルに、損傷や擦り切れた部分がないかチェックします。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを取り外してマウスをコンピュータに直接接続します。
- 3 マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおします。

### コンピュータを再起動します —

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押して、**シャットダウン** または **終了オプション** を選択して、<Enter> キーを押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおします。
- 4 コンピュータを再起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

### マウス設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を変更してみます。

マウスドライバを再インストールします — 42 ページを参照してください。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します — 43 ページを参照してください。

## ネットワークの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

**コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します** —リンク保全ライトがオフの場合、ネットワーク通信が存在しないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。ネットワークライトの詳細に関しては、「コントロールおよびライト」(76 ページ)を参照してください。

**コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします**

**ネットワークの設定を確認します** —ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 43 ページを参照してください。

## 電源の問題

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合** — 「診断ライト」(37 ページ)を参照してください。

**電源ライトが緑色に点滅している場合** —コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

**電源ライトが消灯している場合** —コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。また電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
- 電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (55 ページを参照)。

**電源ライトが黄色に点灯している場合** —デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします (56 ページを参照)。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします (59 ページを参照)。
- グラフィックスカードを取り付けている場合、取り外して、取り付けなおします (59 ページを参照)。



**電源ライトが黄色に点滅している場合** — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。

プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（55 ページを参照）。

**電氣的な妨害を調べます** — 電氣的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウス延長ケーブル
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

## プリンタの問題



**警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**メモ：**プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**プリンタのマニュアルを確認します** — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

**プリンタの電源が入っているか確認します**

**プリンタケーブルの接続を確認します** —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（11 ページを参照）。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**Windows でプリンタを検出します** —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。  
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

**プリンタドライバを再インストールします** — 手順については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

## スキャナーの問題



**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**メモ**：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

**スキャナーのマニュアルを確認します** —スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

**スキャナーのロックを解除します** —スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

**コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます**

**ケーブルの接続を確認します** —

- ケーブル接続の詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

**MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します** —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。  
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

**スキャナードライバを再インストールします** —手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

## サウンドおよびスピーカーの問題



**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**スピーカーから音がしない場合**



**メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分に確認してください。

**スピーカーケーブルの接続を確認します** —スピーカーのセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認してください。サウンド カードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

**サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します** —スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

**Windows のボリューム調整** —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

**ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します** —コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

**コンセントを確認します** —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**電氣的な妨害を除去します** —コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

**スピーカーの診断プログラムを実行します** —詳細に関しては、スピーカーのマニュアルを参照してください。

**サウンドドライバを再インストールします** — 42 ページを参照してください。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 43 ページを参照してください。

## ヘッドフォンから音がしない場合

**ヘッドフォンのケーブル接続を確認します** —ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（49 ページを参照）。

**Windows で音量を調整します** —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

## ビデオとモニターの問題

 トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### 画面に何も表示されない場合

**モニターのケーブル接続を確認します** —

- グラフィックスケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。
- グラフィックス延長ケーブルを外すと問題が解決する場合、ケーブルに欠陥があります。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換し、電源ケーブルに障害があるかどうか確認します。
- 曲がったり壊れたピンがないか、コネクタを確認します。（モニターのケーブルコネクタは、通常ピンが欠けています。）

**モニターの電源ライトを確認します** —電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターには電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

**コンセントを確認します** —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**診断ライトを確認します** — 37 ページを参照してください。

## 画面が見づらい場合

**モニターの設定を確認します** —モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

**サブウーハーをモニターから離します** —スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニターから 60 センチ以上離れていることを確認します。

**外部電源をモニターから離します** —扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器は、画面の状態を不安定にすることがあります。コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみてください。

**モニターを回転させ、直射日光や干渉を減らします**

**Windows のディスプレイ設定を調節します** —




- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** および **画面の色** で別の設定にしてみます。


# トラブルシューティングツール


## 診断ライト


 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

問題の解決を容易にするため、お使いのコンピュータには背面パネルに「A」、「B」、「C」、および「D」とラベルの付いた4つのライトが搭載されています（50ページを参照）。これらのライトは、黄色または緑色に点灯します。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了したら、4つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色や組み合わせ順によって問題を識別できます。

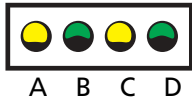
ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS に障害が起こっている可能性があります。	コンピュータを使用可能なコンセントに接続し、電源ボタンを押します。
 A B C D	プロセッサに障害が起こっている可能性があります。	デルにお問い合わせください（86ページを参照）。
 A B C D	メモリモジュールが検出されましたが、メモリ障害が発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして（56ページ参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、あるいはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。</li> <li>適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます（56ページを参照）。</li> <li>問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（86ページを参照）。</li> </ul>

 = 黄色

 = 緑色

 = オフ

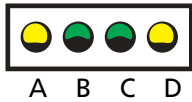
## ライトパターン (続き) 問題の説明



グラフィックスカードの障害が発生した可能性があります。

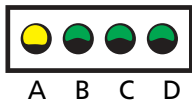
## 推奨される処置

- コンピュータにグラフィックスカードを取り付けている場合、カードを取り外し、取り付けなおして ( 59 ページを参照)、コンピュータを再起動します。
- それでも問題が解決しない場合、動作を確認済みのグラフィックスカードを取り付け、コンピュータを再起動します。
- 問題が解決しない場合、またはカードがコンピュータに内蔵されている場合は、デルにお問い合わせください ( 86 ページを参照)。



フロッピードライブまたはハードドライブの障害が発生した可能性があります。

すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。



USB の障害が発生した可能性があります。

すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。



メモリモジュールが検出されません。

- 取り付けられているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、モジュールを取り外し、1 つを取り付けなおして ( 56 ページ参照)、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、あるいはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。
- 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます ( 56 ページを参照)。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください ( 86 ページを参照)。



メモリモジュールは検出されましたが、メモリの設定または互換性エラーが存在します。

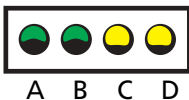
- 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないか確認します ( 56 ページを参照)。
- 取り付けようとしているメモリがコンピュータと互換性があるか確認します ( 56 ページを参照)。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください ( 86 ページを参照)。

● = 黄色

● = 緑色

○ = オフ

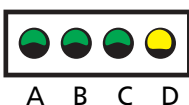
## ライトパターン (続き) 問題の説明



拡張カードの障害が発生した可能性があります。

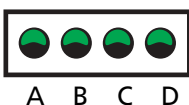
## 推奨される処置

- 1 カード（グラフィックスカードではなく）を取り外し（59 ページを参照）、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。
- 2 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け直し、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。
- 3 それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合は、リソースコンフリクト時にコンピュータから最後に取り外したカードをトラブルシューティングします（43 ページを参照）。
- 4 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（86 ページを参照）。




その他の障害が発生しました。


- ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します（55 ページを参照）。
- デバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）に問題があることを示すエラーメッセージが画面に表示されている場合、デバイスが正しく機能しているか確認してください。
- オペレーティングシステムがデバイス（フロッピードライブやハードドライブ）から起動しようとしています。起動順序がコンピュータにインストールされているデバイスで正しく設定されているか、セットアップユーティリティ（77 ページを参照）を確認してください。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（86 ページを参照）。




POST の後、コンピュータは通常の動作状態にあります。


特にありません。

 = 黄色

 = 緑色


 = オフ

# Dell Diagnostics (診断) プログラム

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

## Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、「問題の解決」(23 ページ)にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行してください。

 **注意**：Dell Diagnostics (診断) プログラムは、Dell™ コンピュータでのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして (47 ページを参照) もう一度やりなおしてみます。


- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して <Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (40 ページを参照)。

## Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics (診断) プログラムのロードが終了し、**Main Menu** 画面が表示されたら、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に <b>Express Test</b> を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。  
エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください (86 ページを参照)。

 **メモ**：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせになった際に、テクニカルサポート担当者がサービスタグをお伺いいたします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします (詳細に関しては、以下の表を参照)。



タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p><b>Dell Diagnostics</b>（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、およびさまざまな内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入力し、画面の左側ペインのデバイス一覧に情報を表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

## ドライバ

### ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは **Microsoft® Windows®** オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

### ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

#### Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。

- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 (![!]) の付いた黄色い丸) が付いているものがないか確認します。  
デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります ( 41 ページを参照)。

### ドライバの再インストール

 **注意:** デルサポートサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) から Dell™ コンピュータの認可されたドライバが入手できます。その他の媒体からのドライバをインストールする場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

### Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後でシステムが不安定になった場合、Windows XP デバイスのドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置換えることができます。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼働状態にコンピュータを戻します。

### ドライバの手動インストール

- 1 要求されたドライバファイルをハードドライブにコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

## ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。
- 3 **検索結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

## オペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft Windows XP システムの復元は、お使いのコンピュータをデータファイルに影響させることなく、以前の状態に戻します。
- Symantec による Dell PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。Dell PC の復元はハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後インストールされたどのようなアプリケーションも取り除きます。

### Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、8 ページを参照してください。



**注意：**データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。




**メモ：**このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定した場合は動作しない場合があります。

### 復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

### コンピュータの以前の動作状態への復元


デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバのロールバック（42 ページを参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合、システムの復元を使用します。

 **注意:** コンピュータを以前の稼働状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。  
**復元ポイントの選択** 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。  
カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合、希望の復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。  
システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

#### 最後のシステムの復元を取り消す

 **注意:** 最後のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。


#### システムの復元を有効にする

200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。

**すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

#### Symantec による Dell PC 復元の使い方


 **メモ:** Symantec による Dell PC の復元は、すべての国で利用できるわけではありません。

Symantec による Dell PC の復元は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたようなプログラムやファイル（データファイルを含む）も永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。可能であれば、PC の復元を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。


 **注意:** PC の復元を使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてからインストールされたようなアプリケーションやドライバも取り除かれます。可能であれば、PC の復元を使用する前にデータをバックアップしてください。

PC の復元は、以下の手順で実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。  
起動プロセスの間、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。
- 2 青色のバーが表示されたら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。  
**<Ctrl><F11>** を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータが再起動し終わるのを待って、もう一度再起動します。

 **注意:** PC の復元をこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。

- 3 次の画面で **復元** をクリックします。
- 4 次の画面で **承認** をクリックします。  
復元プロセスが完了するまでに、約 **6 ~ 10** 分かかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

 **メモ:** コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させます。

- 6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。  
コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼働状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。
- 7 **次へ** をクリックします。  
**システムの復元** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。



# 部品の取り外しと取り付け

## 作業を開始する前に

この項では、コンピュータのコンポーネントの取り外しおよび取り付けについて説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」(47 ページ) および「コンピュータ内部の作業を始める前に」(47 ページ) の手順をすでに完了していること。
- お使いの Dell™ 『製品情報ガイド』の安全性に関する情報を読んでいること。
- コンポーネントを交換するか、別途購入している場合取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

## 奨励するツール

このドキュメントで説明する操作には、以下のようなツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ

## コンピュータの電源を切る



**注意:** データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
  - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
  - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。  
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスの電源が切れているか確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。

## コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。



**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**警告:** 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

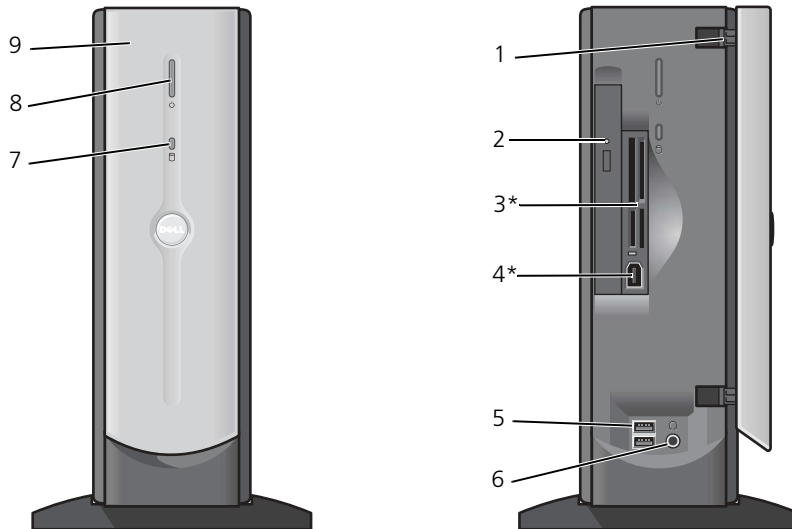
- ➡ **注意:** 認定を受けたサービス技術者のみが、コンピュータの修理を行うことができます。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。
- ➡ **注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ケーブルによってはコネクタにロックタブが付いていることがあります。このタイプのケーブルを外す場合は、ロックタブを押し込んでケーブルを抜いてください。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する際は、両方のコネクタの向きが合っていることを確認してください。
- ➡ **注意:** コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。
  - 1 コンピュータの電源を切ります (47 ページ参照)。
- ➡ **注意:** ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
  - 2 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。
  - 3 コンピュータと接続されているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を除去します。
- ⚠ **警告:** 感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ➡ **注意:** コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を除去してください。

## コンピュータの正面および背面

### 正面図

- 📌 **メモ:** 特定のフラッシュメディア、IEEE 1394、USB、またはヘッドフォンコネクタを使用している場合、前面パネルドアは閉まりません。
- 📌 **メモ:** 前面パネルは取り外し可能です。このドアを取り外したり、間違ってもヒンジから外しても所定の位置にカチッと戻ります。ドアの取り付け方法については、52 ページを参照してください。



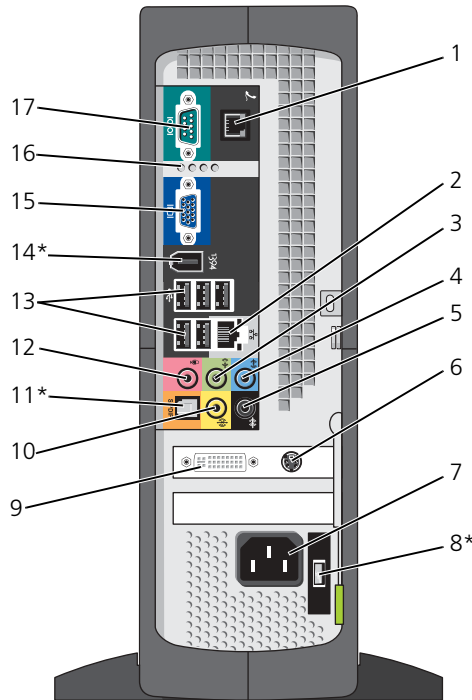


\* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

1	分離ヒンジ (2)	お使いのコンピュータへの損傷を防ぐため、前面ドアは大きく開くとドアが「外れる」ように設計されています。再度、前面ドアを取り付けるには、52 ページを参照してください。
2	CD/DVD ドライブ動作ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
3	メディアカードスロット (4) (オプション)	メディアカードスロットを使用して、データをコンピュータに転送します。詳細に関しては、「メディアカードリーダーの使い方」(11 ページ) を参照してください。
4	IEEE 1394 6 ピンコネクタ	デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。(この機能は、オプションのメディアカードリーダーを搭載したコンピュータでのみ利用可能です。)
5	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用します。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用することをお勧めします。 <b>注意:</b> このコンピュータは USB ハブの使用をサポートしています。ただし、2 つ以上の USB ハブを USB コネクタに接続することはできません。コンピュータが突然再スタートする原因になる場合があります。 <b>メモ:</b> コンピュータとは別に購入した USB デバイスを取り付ける場合、特定のドライバをインストールする必要がある場合があります。詳細に関しては、USB デバイスに付属しているマニュアルを参照するか、USB デバイスの製造元にお問い合わせください。
6	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンおよびほとんどの種類のスピーカーを取り付けることができます

7	ハードドライブ動作 ライト	ハードドライブ動作ライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きする際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作中も点灯します。
8	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 <b>注意:</b> データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
9	前面パネルドア	前面パネルコネクタを使用する際に、このドアを開きます。 <b>メモ:</b> 前面ドアは取り外し可能です。ドアを取り外した場合や、誤ってヒンジから外れてしまった場合でも、元の位置に取り付けることができます。ドアの取り付け方法については、52 ページを参照してください。

## 背面図



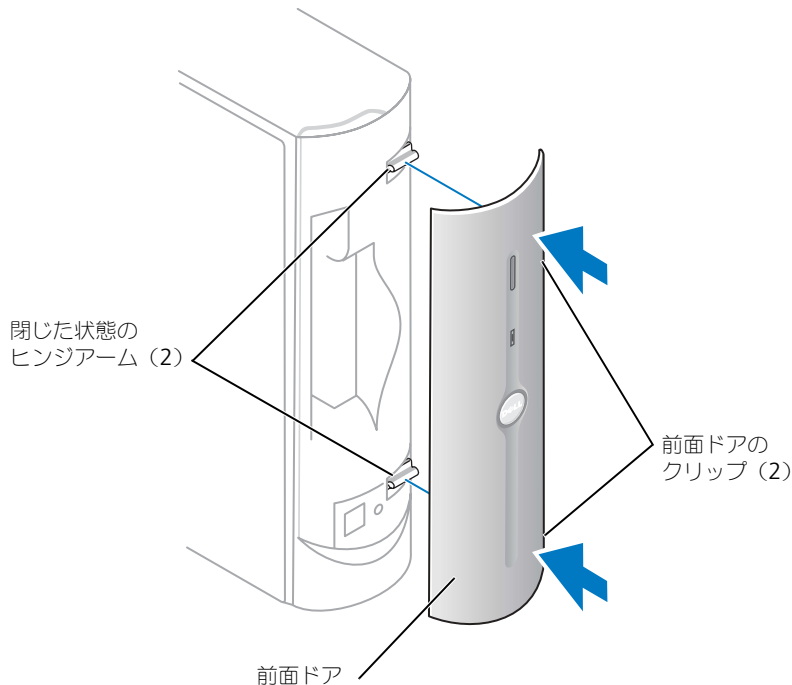
\* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

1	モデムコネクタ	モデムコネクタを使用して、コンピュータをインターネットに接続します。
2	ネットワークアダプタコネクタ 	コンピュータをネットワークやケーブル / DSL モデムに取り付けるには、ネットワークケーブルの端をネットワークジャックやネットワークデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端を、コンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッと収まったらネットワークケーブルはしっかりと接続されています。カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを配線する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。
3	ライン出カコネクタ	緑色のライン出カコネクタを使って、ヘッドフォンおよび内蔵アンプの付いたほとんどのスピーカーを接続します。
4	ライン入カコネクタ	青色のライン入カコネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。
5	サラウンドコネクタ	黒色のサラウンドコネクタを使用して、マルチチャンネル対応スピーカーを取り付けます。
6	S ビデオ出カコネクタ	コンピュータを TV に接続します。詳細に関しては、「TV の接続」（12 ページ）を参照してください。
7	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
8	電圧切り替えスイッチ	詳細に関しては、『製品情報ガイド』の安全に関する手順を参照してください。
9	オプションのビデオカードコネクタ	モニターのケーブルをビデオカードコネクタに接続します。 (この機能は、コンピュータがオプションのビデオカードを搭載している場合にのみ利用可能です。)
10	センター / LFE コネクタ	黄色のセンター / LFE コネクタを使用して、サブウーハーおよびセンターチャンネルを取り付けます。
11	SPDIF 出カコネクタ	このコネクタを使用して、デジタルオーディオ信号をアンプ、ミニディスク、およびその他の SPDIF 入力互換装置に送ります。
12	マイク用コネクタ	ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続して、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
13	USB 2.0 コネクタ (5)	プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど、ときどき接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
14	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。 (この機能は、オプションの IEEE 1394 コネクタを搭載したコンピュータでのみ利用可能です。)
15	オンボードビデオコネクタ	このコネクタに保護キャップが被さっている場合、コンピュータにオプションのビデオカードが取り付けられています。保護キャップが被さっていない場合、モニターのケーブルを青色のコネクタに差し込みます。
16	診断ライト (4)	診断ライトは、診断コードに基づくコンピュータの問題のトラブルシューティングに役立ちます。詳細に関しては、37 ページを参照してください。
17	シリアルコネクタ	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。

## 前面ドアの取り付け

お使いのコンピュータへの損傷を防ぐため、前面ドアは大きく開くとドアが「外れる」ように設計されています。前面ドアを再度取り付けるには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（47 ページを参照）。
  - 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、ここで電源を切ります。
- 注意：** ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
  - 4 コンピュータおよび接続されているすべてのデバイスを電源コンセントから取り外し、次に電源ボタンを押してシステム基板の静電気を除去します。
- メモ：** 上部ヒンジアームは、ヒンジアームを閉じた状態まで動かすと、カチッという感触がありますが下部ヒンジアームにはありません。
- 5 ヒンジアームを閉じた状態まで動かします。
  - 6 前面ドアの内側にある 2 つのクリップを 2 本のヒンジアームに合わせます。
  - 7 前面ドアが両方のヒンジアームにカチッと収まるまで、ドアを内側に押しします。



## コンピュータカバーを開く

**⚠ 警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします (47 ページを参照)。
- 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、ここで電源を切ります。

**➡ 注意:** ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータおよび接続されているすべてのデバイスを電源コンセントから取り外し、次に電源ボタンを押してシステム基板の静電気を除去します。
- 5 コンピュータスタンドが取り付けられている場合は、これを取り外します (9 ページを参照)。

**⚠ 警告:** 感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

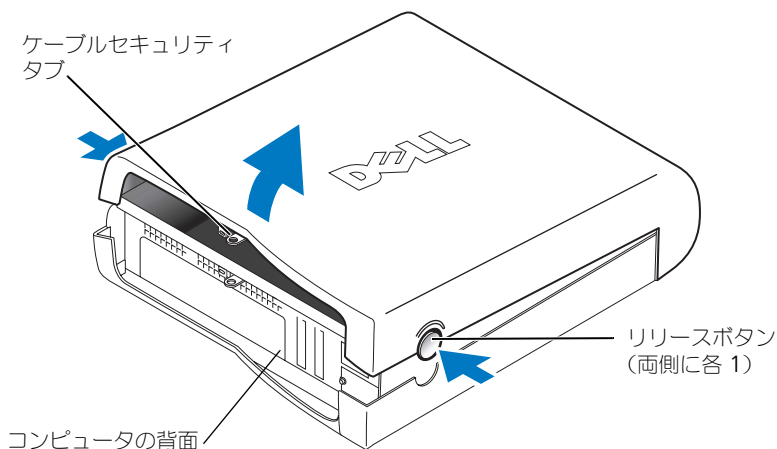
**➡ 注意:** カバーを開いておくために十分なスペース (デスクトップに 30 cm 以上) があることを確認します。

- 6 コンピュータの背面を手前にして、コンピュータを横に倒して置きます。
- 7 図に示されている 2 つのリリースボタンを確認します。カバーを持ち上げながら 2 つのリリースボタンを押します。




**➡ 注意:** ケーブルに損傷を与えないようにゆっくりとカバーを開きます。

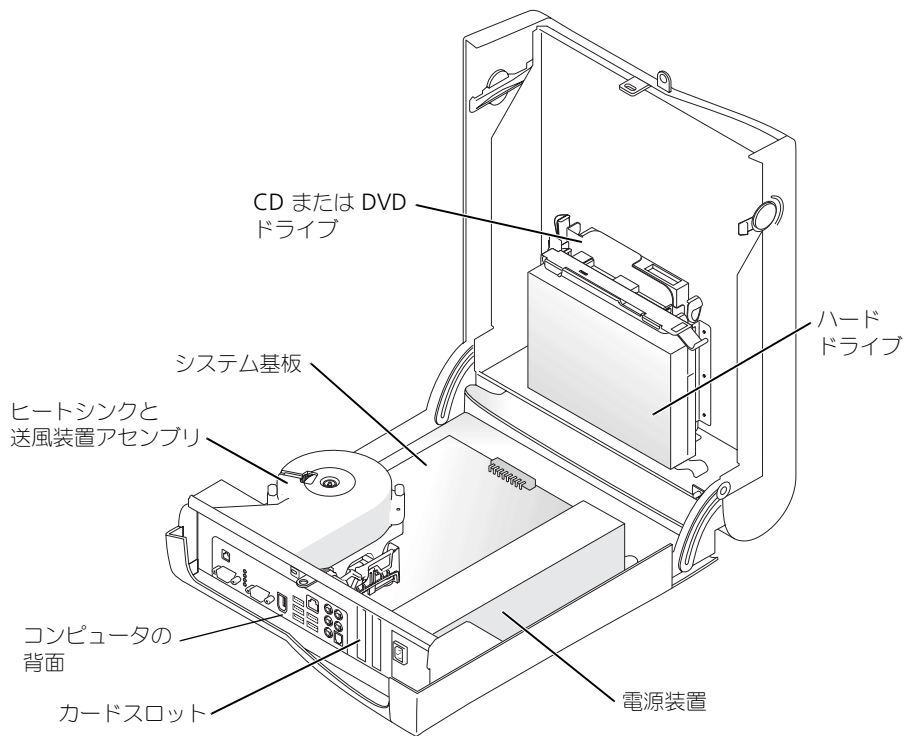
- 8 カバーの後部を持ち上げ、コンピュータの前方へ起こします。

**📌 メモ:** 図のように、コンピュータの向きをケーブルセキュリティタブが上になるよう配置してあることを確認します。

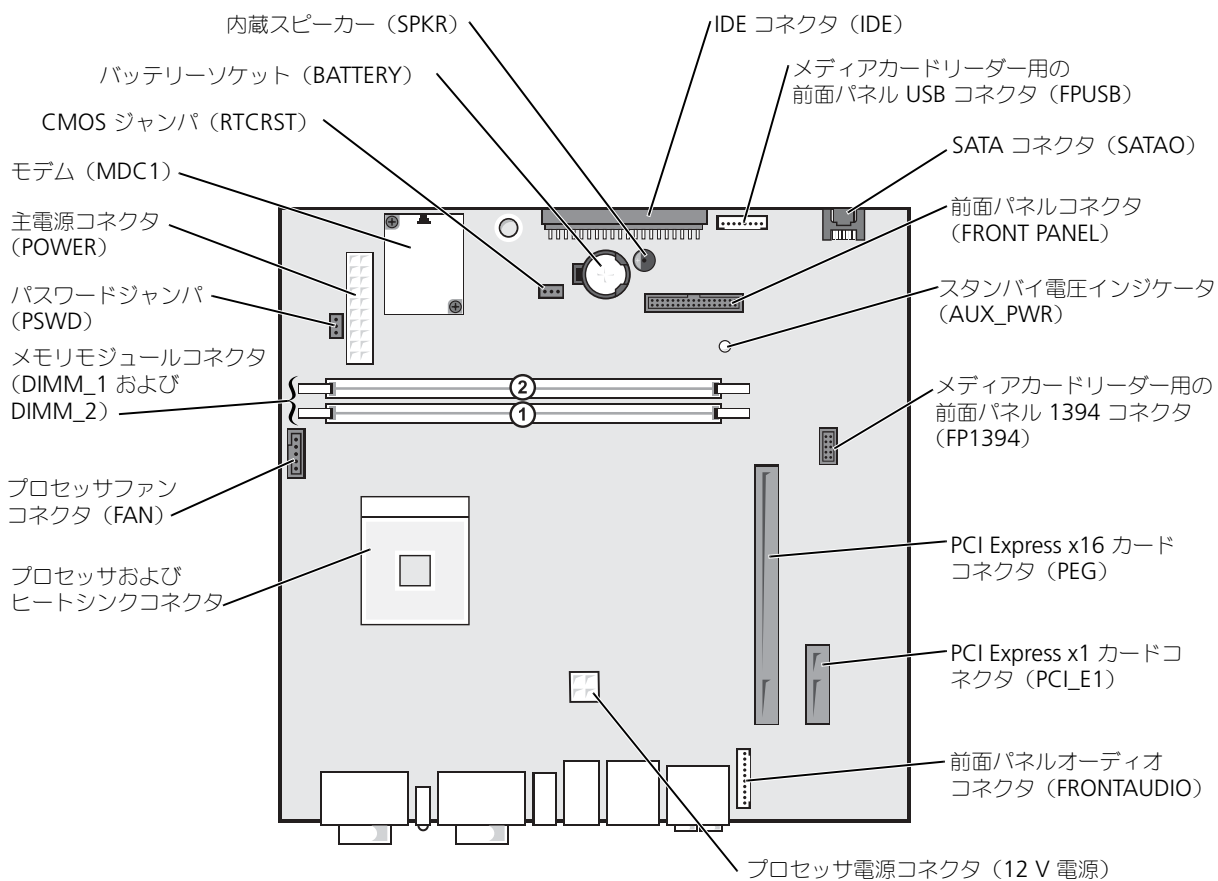


## コンピュータの内部

-  **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
-  **警告:** 感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  **注意:** コンピュータカバーを開く際に、ケーブルをシステム基板から外してしまうことがないように注意してください。



# システム基盤コンポーネント



コンピュータの背面

## メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。

お使いのコンピュータは DDR2 メモリをサポートしています。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、「メモリ」(73 ページ) を参照してください。

### DDR2 メモリの概要

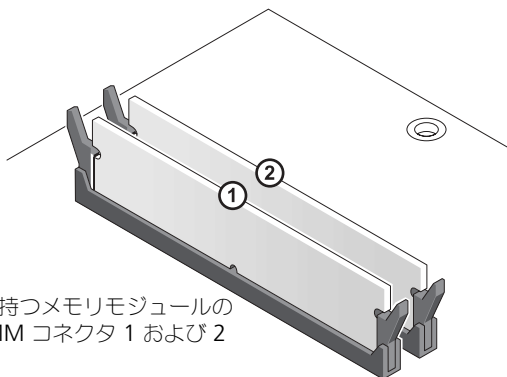
DDR2 メモリモジュールを 2 つ取り付けている場合、メモリサイズとスピードが同等のモジュールをペアで取り付ける必要があります。DDR2 メモリモジュールが同じ容量のペアで取り付けられていなくても、コンピュータは動作し続けますが、パフォーマンスが少し低下します。DDR2 400 MHz (PC2-3200) と DDR2 533 MHz (PC2-4300) のメモリを混成してペアで取り付けると、モジュールは取り付けられたうちの最も遅いスピードで動作します。モジュールのラベルを見て、モジュールの容量を確認してください。



**メモ:** 必ず、システム基板に示されている順番で DDR2 メモリモジュールを装着してください。

**注意:** ECC メモリモジュールは装着しないでください。

同じ容量のメモリモジュールをペアにして DIMM コネクタ 1 と 2 に装着することをお勧めします。



同じ容量を持つメモリモジュールのペアを DIMM コネクタ 1 および 2 に装着

**メモ:** デルから購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証に含まれます。



- 注意:** メモリのアップグレードの際にコンピュータから元のメモリモジュールを取り外した場合、新しいモジュールがデルから購入されたものであっても、そのモジュールは別に保管してください。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。ペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。元々ペアであった 2 つのメモリモジュールを DIMM コネクタ 1 と 2 に装着してください。

## 4 GB 構成でのメモリのアドレス設定

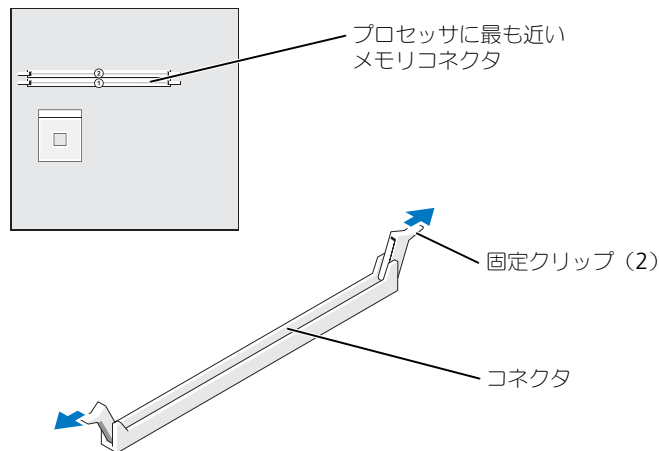
コンピュータは 2 つの 2 GB DIMM を使用すると、最大で 4 GB のメモリをサポートします。Microsoft® Windows® XP などの現在のオペレーティングシステムの最大アドレススペースは 4 GB です。ただし、オペレーティングシステムが使用できるメモリの容量は 4 GB より少なくなります。コンピュータ内の特定のコンポーネントは、4 GB レンジ内にアドレススペースを必要とします。これらのコンポーネント用に予約されたアドレススペースは、コンピュータメモリによっては使用されません。

## メモリの取り付け

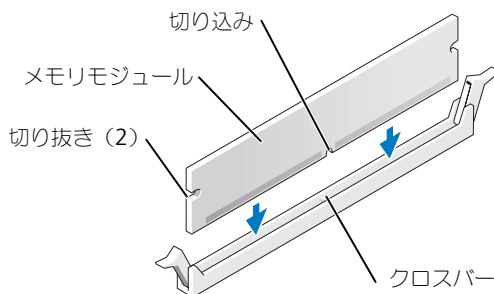
**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**注意:** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。

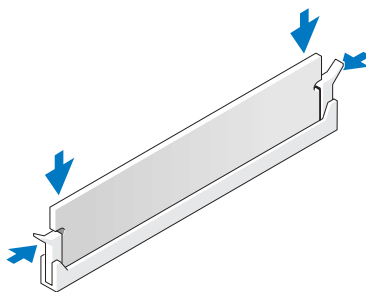


- 4 モジュールの底面の切り込みを、コネクタ内のクロスバーに合わせます。



**注意:** メモリモジュールへの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力を加えて、モジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。

- 5 メモリモジュールをカチッと所定の位置に収まるまで、しっかりと押し込みます。  
モジュールが適切に挿入されると、固定クリップはモジュール両端の切り抜きにカチッと収まります。



- 6 コンピュータカバーを閉じます。

**注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

- 7 コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。  
8 **マイコンピュータ** アイコンを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。  
9 **全般** タブをクリックします。  
10 表示されているメモリ (RAM) の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

## メモリの取り外し



**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**注意**：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。
- 3 モジュールをしっかりとつかんで、引き上げます。  
モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に軽く動かして緩めて、コネクタから取り外します。

## カード



**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**注意**：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

お使いの Dell™ コンピュータには、PCI Express カード用に以下のスロットがあります。

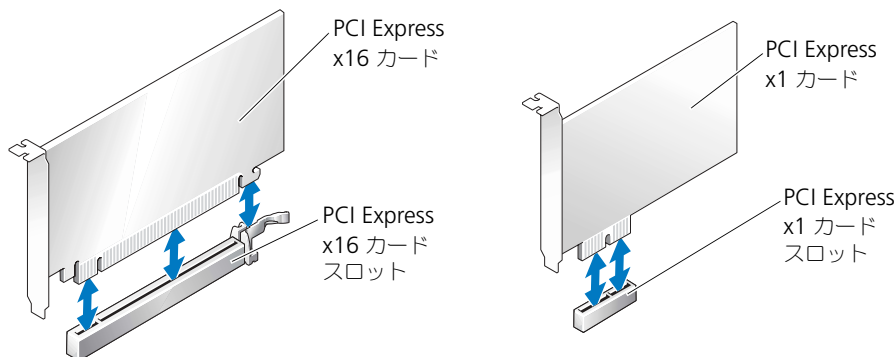
- PCI Express x16 カードスロットが 1 つ
- PCI Express x1 カードスロットが 1 つ



**メモ**：PCI Express x16 および PCI Express x1 カード用のスロットは、ハーフハイトスロットです。

## PCI Express カード

お使いのコンピュータは 1 つの PCI Express x16 カードおよび 1 つの PCI Express x1 カードをサポートします。

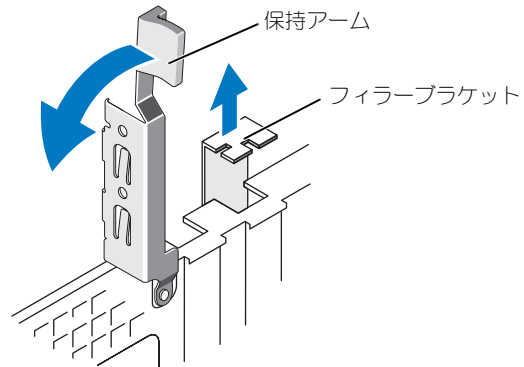


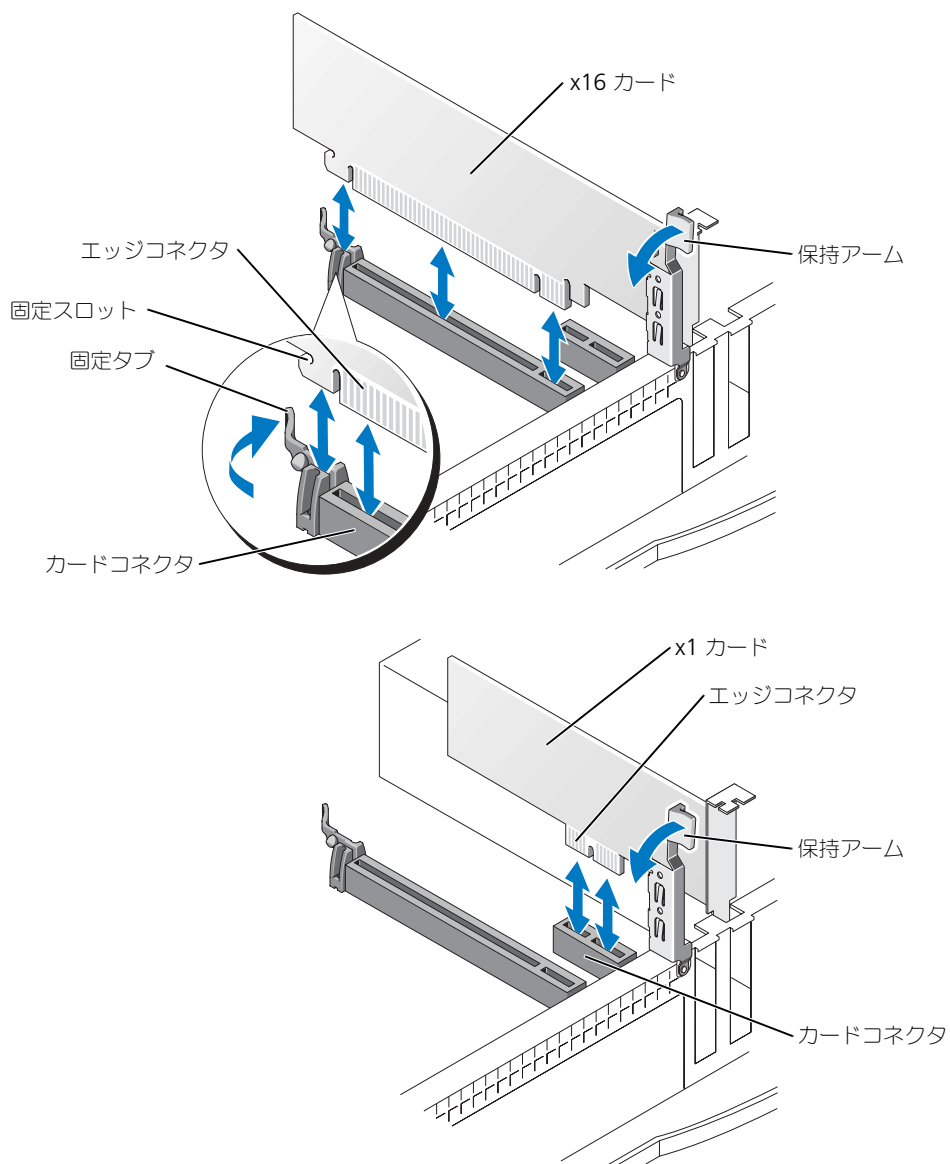
PCI Express カードを取り付けるか交換する場合、次項の手順に従ってください。カードを取り外すだけで取り付けなおさない場合、「PCI Express カードの取り外し」(63 ページ) を参照してください。

カードを交換する場合、現在のカード用のドライバをオペレーティングシステムから削除します。

### PCI Express カードの取り付け

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 カードの保持アームレバーを押し、保持アームを持ち上げます。
- 3 新しいカードを取り付ける場合、フィラーブラケットを取り外してカードスロット開口部を空にします。次に手順 6 に進みます。





- 4 既にコンピュータに取り付けられているカードを交換する場合、カードを取り外します。必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。固定タブを軽く引き、カードの上隅をつかみ、コネクタから引き抜きます。

5 カードを取り付ける準備をします。

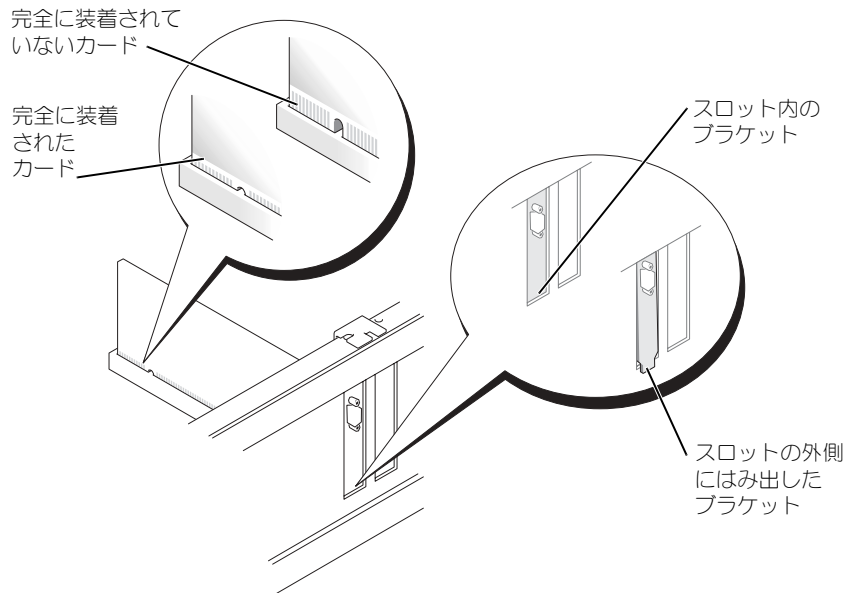
カードの設定、内部の接続、またはお使いのコンピュータに合わせたカードのカスタマイズの情報については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。



**警告:** ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電防止のため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

6 カードを x16 カードコネクタに取り付ける場合、固定スロットが固定タブに合うようにカードを合わせ、固定タブを軽く引きます。

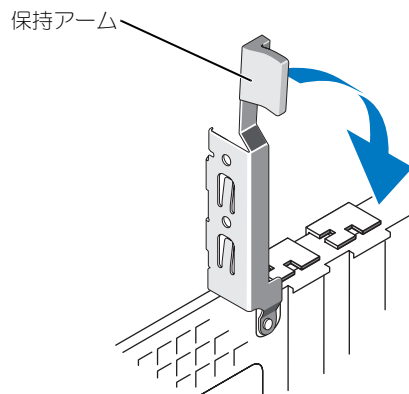
7 カードをコネクタに置き、しっかりと下に押し込みます。カードがスロットにしっかりと装着されているか確認します。



8 以下の事項を確認してください。

- すべてのカードの上部とフィラーブラケットの高さが、位置合わせバーと同じ高さに揃っている
- カードの上部のノッチまたはフィラーブラケットが、位置合わせガイドと合っている

- 9 保持アームを所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。



- ➡ **注意:** カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上を通して配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなくなったり、装置に損傷を与える恐れがあります。
- 10 必要なケーブルをカードに接続します。  
ケーブルの接続については、カードの付属マニュアルを参照してください。
- ➡ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータカバーを閉じ、コンピュータとデバイスをコンセントに接続してからそれらの電源を入れます。
- 12 カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

### PCI Express カードの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
  - 2 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
  - 3 固定タブを軽く引き、カードの上隅をつかみ、コネクタから引き抜きます。
  - 4 カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィルラケットを取り付けます。  
フィルラケットが必要な場合は、デルにお問い合わせください ( 86 ページを参照)。
- 🔧 **メモ:** コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィルラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィルラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。
- 5 カード (またはフィルラケット) をコンピュータに固定します。

- ⑥ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 6 コンピュータカバーを閉じ、コンピュータとデバイスをコンセントに接続してからそれらの電源を入れます。
- 7 カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

## メディアカードリーダー

メディアカードリーダーの使い方に関しては、「メディアカードリーダーの使い方」(11 ページ)を参照してください。

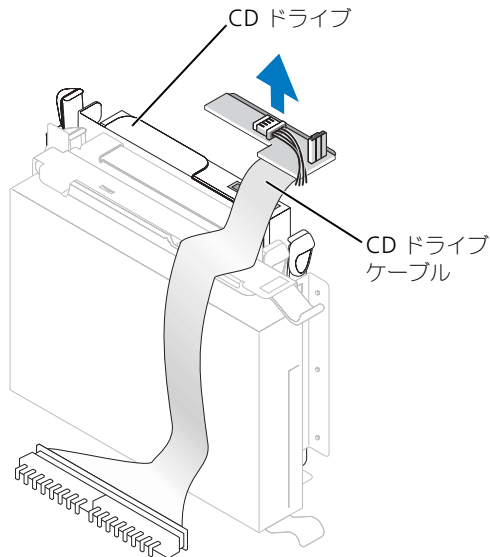
### メディアカードリーダーの取り外し



**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

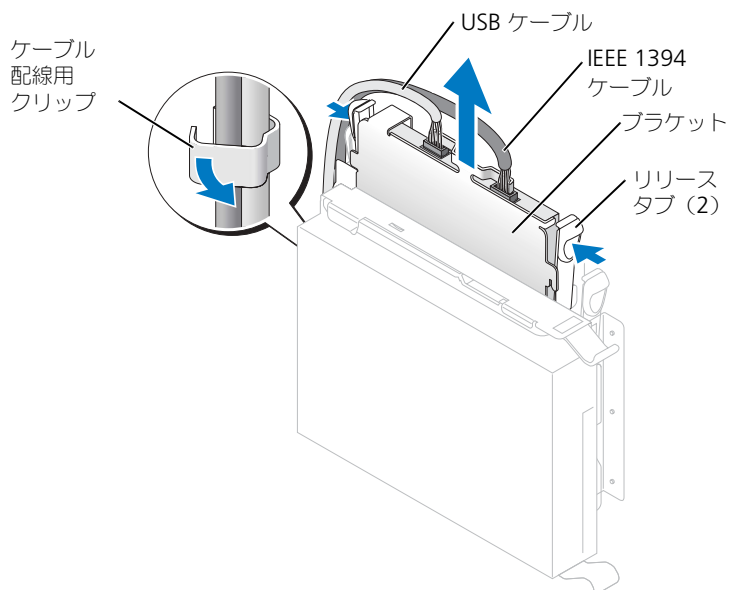


- 注意:** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。
- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ)の手順に従って操作してください。
  - 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
  - 3 コンピュータカバーを開きます (53 ページを参照)。
  - 4 CD ドライブケーブルを CD ドライブの背面から外します。



- 5 メディアカードリーダーの背面にある USB ケーブルを、システム基板上にある前面パネル USB コネクタから外します (55 ページを参照)。





- 6 システム基板上の IEEE 1394 コネクタを外します (55 ページを参照)。
- 7 ケーブルをケーブル配線用クリップから外します。
- 8 ブラケットの両端にあるリリースタブを押し入れ、ユニットを引き出します。
- 9 ケーブルを CD ドライブの背面に再接続します。
- 10 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。

### メディアカードリーダーの取り付け

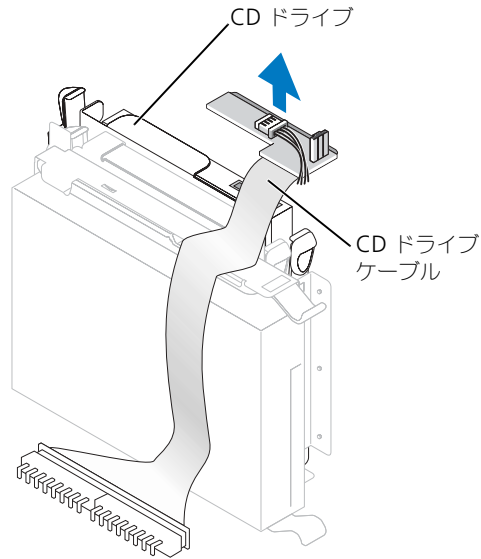


**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

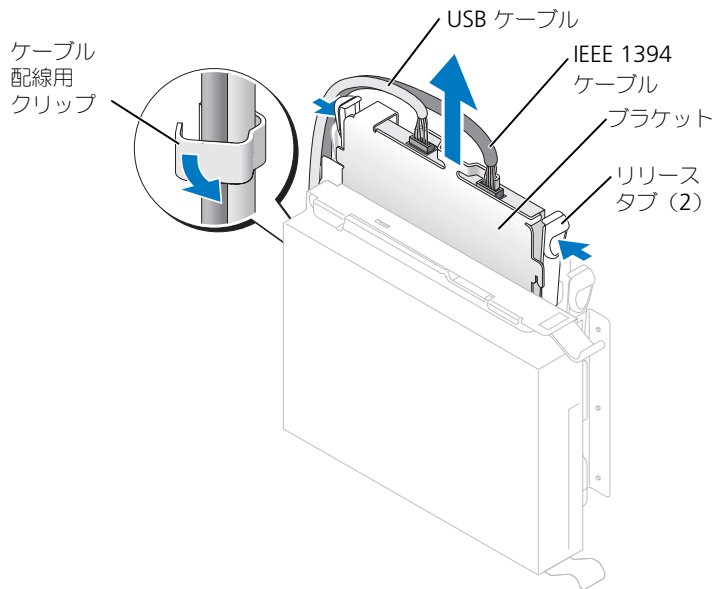
**注意:** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。

- 3 コンピュータカバーを開きます (53 ページを参照)。
- 4 ケーブルを CD ドライブの背面から外します。






- 5 メディアカードリーダーとブラケットの包装を取り除きます。
- 6 USB ケーブルと IEEE 1394 ケーブルをメディアカードリーダーの背面に確実に接続します。
- 7 メディアカードリーダーの背面にある USB ケーブルを、システム基板上にある前面パネル USB コネクタに接続します (55 ページを参照)。
- 8 メディアカードリーダーの背面にある IEEE 1394 ケーブルを、システム基板上にある前面パネル IEEE 1394 コネクタに接続します (55 ページを参照)。

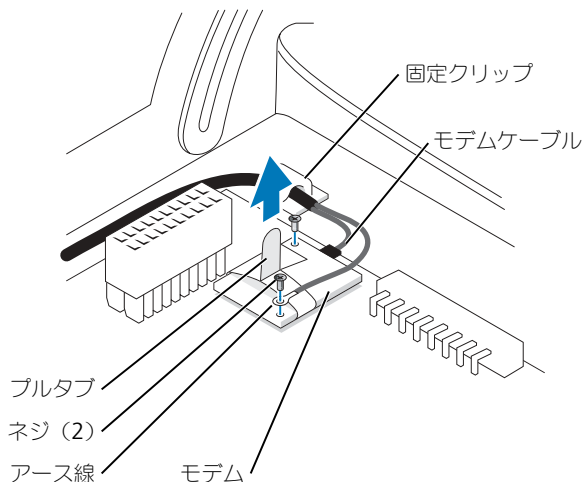


- 9 ブラケットの両端にあるリリースタブを押し入れ、カチッという感触が得られるまでユニットをスライドさせます。
- 10 USB ケーブルと IEEE 1394 ケーブルを、ケーブル配線用クリップに通して配線します。
- 11 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。

## モデム

### モデムの取り付け

-  **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
  -  **注意:** モデムの取り外しまたは取り付けを行う前に、必ずすべての電話線とネットワークケーブルをコンピュータから外します。
  -  **注意:** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。
- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
  - 2 コンピュータカバーを開きます (53 ページを参照)。



- 3 既存のモデムを取り外します。
  - a モデムケーブルをモデムから外します。
  - b モデムとアース線をシステム基板に固定しているネジを細めのドライバを使って外し、ネジは脇に置いておきます。
  - c アース線を移動して、邪魔にならないようにします。
  - d 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて取り外します。
- ⓘ **注意：**コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。
- 4 新しいモデムを取り付けます。
  - a モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。
  - b アース線を元のように取り付けます。
  - c モデムとアース線をシステム基板に固定しているネジを、細めのドライバを使って取り付けます。
  - d モデムケーブルをモデムに取り付けます。
- 5 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。

### モデムケーブルと外付けモデムコネクタの交換

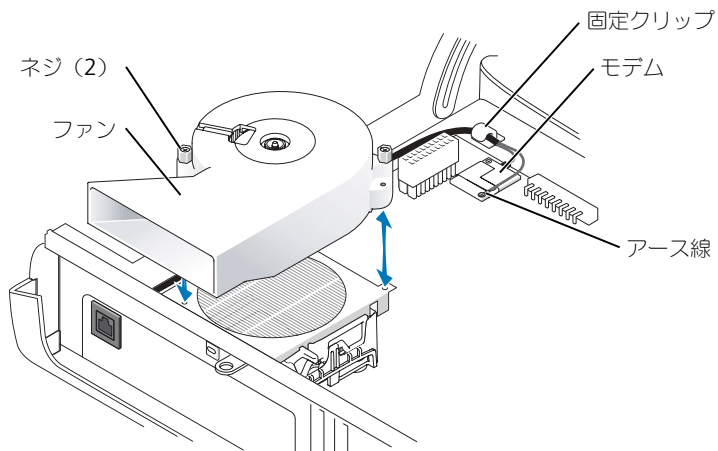
⚠ **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ⓘ **注意：**モデムの取り外しまたは取り付けを行う前に、必ずすべての電話線とネットワークケーブルをコンピュータから外します。

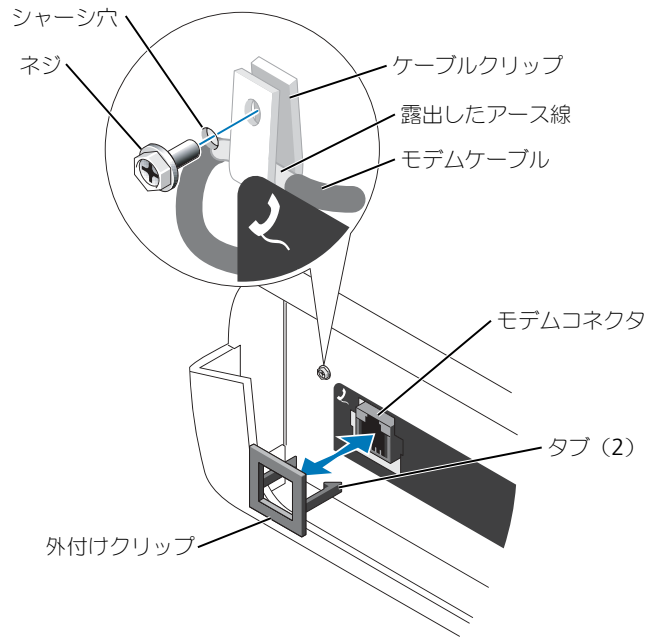
ⓘ **注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

- 1 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。

- 2 コンピュータカバーを開きます (53 ページを参照)。
- 3 モデムケーブルとアース線をモデムから取り外します。
  - a モデムケーブルをモデムから外します。
  - b アース線をモデムおよびシステム基板に固定しているネジを外し、ネジは脇に置いておきます。
  - c モデムの隣にある固定クリップからケーブルとアース線を取り外します。



- 4 外付けモデムコネクタを取り外します。
  - a 2 つのネジをファンから外し、ファンを持ち上げて邪魔にならないようにします。
  - b 外付けモデムコネクタのそばにあるケーブルクリップからネジを取り外します。



- c モデムコネクタを取り出すには、外付けモデムコネクタを所定の位置に保持している外付けクリップの両側にあるタブを注意深く開きます。
- d モデムケーブルとコネクタをコンピュータから持ち上げます。
- 5 新しいモデムケーブルと外付けモデムコネクタを取り付けるには次の手順を実行します。
  - a 外付けコネクタを、コンピュータの背面にあるスロットの位置に合わせます。
  - b 外付けクリップの両側を押して、外付けモデムコネクタを所定の位置に固定します。
  - c モデムコネクタの背面を押して外付けクリップを完全にはめ込み、コンピュータの背面にしっかりと収まるようにします。
  - d モデムケーブルとアース線をケーブルクリップに収め、ネジを使ってクリップをコンピュータシャーシに固定します。
  - e ケーブルとアース線をプロセッサの周囲に注意深く配線し、アース線が内蔵部品から離れた位置にあるようにします。
- 6 モデムケーブルとアース線をモデムに取り付けます。
  - a モデムケーブルをモデムに接続します。
  - b モデムおよびシステム基板にアース線を固定するネジを取り付けます。
- 7 ヒートシンクの穴にファンの位置を合わせ、2つのネジを取り付けます。
- 8 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。

# バッテリー

## バッテリーの取り付け

**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**注意:** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時間の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年間です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報をリセットしなければならないような場合は、バッテリーを交換します。

**警告:** 新しいバッテリーを取り付ける場合、正しく取り付けてください。破裂する場合があります。交換するバッテリーは、メーカーが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

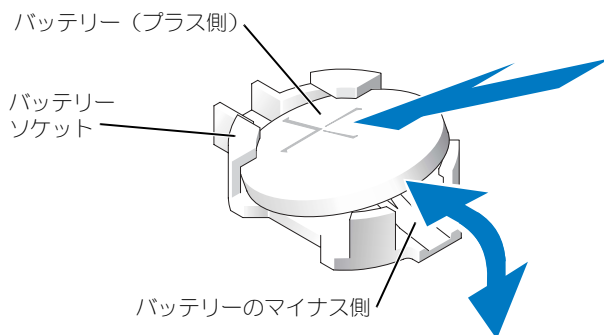
コイン型電池を取り付けるには次の手順を実行します。

**メモ:** コイン型電池のタイプに関しては、「電源」(76 ページ) を参照してください。


- 1 セットアップユーティリティのすべての画面を記録しておく(77 ページを参照)、手順 8 で正しい設定に復元することができます。
- 2 「作業を開始する前に」(47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 3 バッテリーソケットを確認します(55 ページを参照)。

**注意:** 道具(先端の鋭くないものを使用してください)を使用して、バッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを外してください。これらの手順を踏まないと、バッテリーソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与える恐れがあります。


- 4 システムバッテリーを取り外します。
  - a コネクタのプラス側をしっかりと押さえ込んで、バッテリーコネクタを支えます。
  - b バッテリーコネクタを支えたまま、バッテリーをコネクタのプラス側の方に押し込み、コネクタのマイナス側にある固定タブから持ち上げて取り外します。




**注意:** バッテリーコネクタへの損傷を防ぐために、バッテリーを取り付けたり取り外す際は、コネクタをしっかりと支えておく必要があります。

- 5 新しいバッテリーを取り付けます。
  - a コネクタのプラス側をしっかりと押さえ込んで、バッテリーコネクタを支えます。
  - b バッテリーの「+」側を上に向け、コネクタのプラス側にある固定タブの下にスライドさせます。
  - c バッテリーがカチッと所定の位置に収まるまで、コネクタをまっすぐに押し下げます。
- 6 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。  
 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 セットアップユーティリティを起動して (77 ページを参照)、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 9 古いバッテリーは適切に廃棄します。バッテリーの廃棄については、『製品情報ガイド』を参照してください。

## コンピュータカバーを閉じる

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 すべてのケーブルがしっかり接続され、ケーブルが邪魔にならない場所に束ねられているか確認します。  
電源ケーブルがドライブの下に挟まらないように、電源ケーブルを慎重に手前に引きます。
- 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーを閉じます。
  - a カバーを回して下ろします。
  - b カバーの右側が閉まるまで押し下げます。
  - c カバーの左側が閉まるまで押し下げます。
  - d カバーの両側がロックされたことを確認します。ロックされなかった場合、手順 3 を繰り返します。
- 6  **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。



# 付録

## 仕様

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Pentium® 4 プロセッサ 520、530、540、550、560、および 570、ハイパースレッディングテクノロジー搭載 <b>メモ</b> ：すべての Pentium 4 プロセッサが、ハイパースレッディングテクノロジーをサポートしているわけではありません。 Intel Celeron® D プロセッサ 330 および 335 <b>メモ</b> ：Intel Celeron プロセッサ搭載の Dell™ Dimension™ 4700C は、日本でのみ販売されています。
L1 (レベル 1) キャッシュ	16 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	Pentium 4 プロセッサ用に 1 MB Celeron プロセッサ用に 256 KB (コンピュータ構成に従い) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエティブ、ライトバック SRAM
メモリ	
タイプ	400 MHz および 533 MHz DDR2 バッファなし SDRAM
メモリのコネクタ	2 つ
メモリ容量	256 MB、512 MB、1 GB、または 2 GB 非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	4 GB <b>メモ</b> ：『オーナーズマニュアル』の「4 GB 構成でのメモリのアドレス設定」を参照して、オペレーティングシステムに使用可能なメモリの容量を確認してください。
BIOS アドレス	F0000h
コンピュータ情報	
チップセット	Intel 915G Express チップセット
DMA チャンネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ (NVRAM)	4 Mb
NIC	10/100 Mbps 通信が可能な内蔵ネットワークインタフェース

<b>コンピュータ情報 (続き)</b>	
システムクロック	800 MHz データ転送速度
<b>ビデオ</b>	
タイプ	Intel 内蔵グラフィックスメディアアクセラレータ (GMA) 900 x16 PCI Express Discrete Graphics
<b>オーディオ</b>	
タイプ	ADI 1980 AC97 Codec
<b>拡張バス</b>	
バスのタイプ	PCI Express x1 および x16
バス速度	PCI Express: x1 スロットの双方向スピード: 500 MB/秒 x16 スロットの双方向スピード: 8 GB/秒
PCI Express:	
コネクタ	x1、1 つ
コネクタサイズ	36 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	PCI Express レーン 1 つ
PCI Express:	
コネクタ	x16、1 つ
コネクタサイズ	164 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	16 PCI Express レーン
<b>ドライブ</b>	
外部アクセス可能	スリムライン 3.5 インチメディアベイ 1 つ スリムライン 5.25 インチドライブベイ 1 つ
利用可能なデバイス	Serial ATA ドライブ、USB メモリデバイス、CD ドライブ、DVD ドライブ、DVD+RW ドライブ、DVD/CD-RW コンボドライブ、DVD+/-RW、およびメディアカードリーダー
内部アクセス可能	1 インチ幅ハードドライブ用ベイ 1 つ

---

## コネクタ

---

### 外付けコネクタ：

シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
IEEE 1394	6 ピン 電源付き背面パネルコネクタ（すべてのコンピュータにあるとは限りません）1 つ 6 ピン 電源付き前面パネルコネクタ（オプションのメディアカードリーダー付き）1 つ
ビデオ	15 ホール D-SUB コネクタ
USB	USB 2.0 互換コネクタ（前面パネルに 2 つ、背面パネルに 5 つ）
ヘッドフォン	ライン出力用前面パネルミニコネクタ
オーディオ	ライン入力、ライン出力、マイク、サラウンド、およびセンター / 低周波エフェクト（LFE）チャンネル用のコネクタ 5 つ、S/PDIF 背面パネルコネクタ（S/PDIF コネクタは、すべてのコンピュータにあるとは限りません）
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ
モデム	RJ-11（MDC 1.5）コネクタ

### システム基板コネクタ：

IDE ドライブ	40 ピンコネクタ x 1
シリアル ATA	7 ピンコネクタ 1 つ
ファン	5 ピンコネクタ 1 つ
PCI Express x1	36 ピンコネクタ
PCI Express x16	164 ピンコネクタ
USB	オプションのメディアカードリーダー（3.5 インチベイデバイス）用の 8 ピンヘッダー
MDC	12 ピンコネクタ 1 つ
前面パネルオーディオ	10 ピンヘッダー 1 つ
前面パネル	34 ピンヘッダー 1 つ
電源	2 x 10 コネクタ 1 つ
プロセッサ電源	2 x 2 コネクタ 1 つ
IEEE 1394	オプションのメディアカードリーダー（3.5 インチベイデバイス）用の 2 x 5 ヘッダー 1 つ

---

**コントロールおよびライト**


---

電源ボタン	押しボタン
電源ライト	緑色のライト — スリープ状態のとき緑色に点滅、電源がオンのとき緑色に点灯 黄色のライト — 取り付けられているデバイスに問題があるときは黄色が点滅し、内蔵の電源に問題があるときは黄色が点灯（Dell Dimension 『オーナーズマニュアル』の「電源の問題」を参照）。
ハードドライブアクセスライト	緑色
リンク保全ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	緑色のライト — 10 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 橙色のライト — 100 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 オフ（消灯） — コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。
動作ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネルの 4 つのライト（Dell Dimension 『オーナーズマニュアル』の「診断ライト」を参照）。
スタンバイ電源ライト	システム基板の AUX_PWR
動作ライト（オプションのメディアカードリーダー）	緑色の点滅ライト

---

**電源**


---

## DC 電源装置：

ワット数	160 W 270 W
熱消費	460.7 BTU/hr
電圧（重要な電源設定情報については、『製品情報ガイド』の安全に関する手順を参照）	固定電圧電源装置 — 50/60 Hz で 110 V 手動設定および自動センサー電源装置 — 50/60 Hz で 90 ~ 135 V、50/60 Hz で 180 ~ 265 V、50/60 Hz で 100 V（日本国内で使用されるコンピュータ）
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

寸法	
縦幅	32.3 cm
横幅	9.6 cm
長さ	35.6 cm
重量	7.4 kg
環境	
温度：	
動作時	10～35℃ メモ：35℃で最大動作高度 914 m
保管時	-40～65℃
相対湿度	20～80%（結露しないこと）
最大耐久震度：	
動作時	0.25 G（3～200 Hz、0.5 オクターブ/分）
保管時	0.5 G（3～200 Hz、1 オクターブ/分）
最大耐久衝撃：	
動作時	50.8 cm / 秒の速度変化のボトムハーフサインパルス
保管時	508 cm / 秒の速度変化で 27 G フェアードスクエアウェーブ
高度：	
動作時	-15.2～3,048 m
保管時	-15.2～10,668 m


## セットアップユーティリティ

### 概要

セットアップユーティリティは以下の場合に使用します。

- ハードウェアを追加、変更、取り外した後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けられたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティ画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

 **注意：** コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

### セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

- 2 青色の DELL™ のロゴが表示された場合、すぐに <F2> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（47 ページを参照）もう一度やりなおしてみます。

### セットアップ画面

セットアップユーティリティ画面は、お使いのコンピュータの現在のまたは変更可能な設定情報を表示します。画面上の情報は、オプションリスト、アクティブオプションフィールド、キーファンクションの 3 つの領域に分かれます。

**Options List** — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、取り付けられたハードウェア、省電力機能、およびセキュリティ機能を含む、コンピュータの構成を定義するオプションを表示する、スクロール可能なリストです。

上下矢印キーを使用して、リストを上下にスクロールします。オプションがハイライト表示されている際、**Option Field** はそのオプションの詳細とオプションの現在の設定および利用可能な設定を表示します。

主なオプションフィールドを開いたり閉じたりするには、<Enter> を押します。

**Option Field** — このフィールドには、各オプションについての情報が表示されます。このフィールドで、現在の設定を表示させたり設定を変更することができます。

左右矢印キーを使って、オプションをハイライト表示します。<Enter> を押して、選択を有効にします。

**Key Functions** — このフィールドは、**Option Field** の下に表示され、アクティブなセットアップユーティリティフィールドのキーおよびその機能を一覧表示します。

## セットアップオプション



**メモ**：お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスに応じて、この項に一覧表示された項目とは異なる場合があります。

System	
<b>System Info</b>	コンピュータ名、BIOS バージョン番号および日付、システムタグやその他のシステム固有情報などシステム情報のリストを示します。
<b>CPU Info</b>	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングに対応しているか識別し、プロセッサバススピード、プロセッサ ID、クロックスピード、および L2 キャッシュのリストを表示します。
<b>Memory Info</b>	取り付けられているメモリの量、メモリ速度、チャンネルモード（デュアル/シングル）、取り付けられているメモリのタイプを示します。
<b>Date/Time</b>	現在の日付および時刻設定を表示します。
<b>Boot Sequence</b>	コンピュータはこのリストで指定したデバイスの順番で起動を試みます。 <b>メモ</b> ：起動デバイスを挿入して、コンピュータを再起動した場合、このオプションはセットアップユーティリティのメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選んで移動し、一覧の最初のデバイスにします。
Drives	
<b>Diskette Drive</b>	システム基板の FLOPPY コネクタに接続されているフロッピードライブを識別し、 <b>Off</b> 、 <b>USB</b> 、 <b>Internal</b> 、もしくは <b>Read Only</b> と定義します。
<b>Drives 0 through 1</b>	システム基板の SATA または PRI IDE コネクタに接続されているドライブを識別し、ハードドライブの容量を表示します。
<b>SATA Operation</b>	SATA モードを識別および定義します。SATA コントローラは <b>Normal（通常）</b> または <b>Combo（コンボ）</b> モードに設定できます。
Onboard Devices	
<b>NIC Controller</b>	NIC は <b>On</b> （デフォルト）、 <b>Off</b> 、 <b>On w/ PXE</b> に設定できます。 <b>On w/ PXE setting is active</b> （次回からの起動プロセスにのみ使用可能）な場合は、<Ctrl><Alt><b> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバーから起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できないと、コンピュータは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。
<b>Modem</b>	オンボードモデムを有効または無効にします。
<b>1394 Controller</b>	IEEE 1394 接続を有効または無効にします。
<b>Card Reader</b>	オプションのメディアカードリーダーを有効または無効にします。
<b>Audio Controller</b>	オンボードオーディオコントローラを有効または無効にします。
<b>USB Controller</b>	<b>On</b> （デフォルト）に設定すると、USB デバイスが検出され、オペレーティングシステムでサポートされます。 <b>No Boot（起動しない）</b> オプションで USB コントローラが有効になりますが、USB ストレージデバイスは認識されません。
<b>Serial Port</b>	シリアルポート設定を識別および定義します。 <b>Auto</b> （デフォルト）はコネクタを自動的に特定の指定先（ <b>COM1</b> または <b>COM3</b> ）に設定します。 <b>メモ</b> ：両方のリソースが使用されている場合、ポートは無効になります。

<b>Video</b>	
<b>Primary Video</b>	この設定は、コンピュータにビデオコントローラが2つある場合、どちらをプライマリにするかを指定します。
<b>Video Memory Size</b>	このオプションを使って、オンボードビデオコントローラのシステムメモリ用に <b>8 MB</b> (デフォルト) または <b>1 MB</b> を選択します。
<b>Performance</b>	
<b>HyperThreading</b>	お使いのコンピュータのプロセッサがハイパースレッディングに対応している場合、このオプションが <b>Options List</b> に表示されます。
<b>HDD Acoustic Mode</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Bypass</b> — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。</li> <li>• <b>Quiet</b> (デフォルト) — ハードドライブは最も静かな設定で動作します。</li> <li>• <b>Suggested</b> — ハードドライブは、ハードドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。</li> <li>• <b>Performance</b> — ハードドライブは最大速度で動作します。</li> </ul> <p><b>メモ:</b> Performance モードへ切り替えると、ドライブはより大きなノイズを発生する場合がありますが、動作に影響はありません。</p> <p><b>メモ:</b> アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。</p>
<b>Security</b>	
<b>DEP (Execute Disable)</b>	<p>このセクションは、使用可能なシステムセキュリティオプションを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Opt-In</b> (デフォルト) — DEP は、NX が有効なプロセッサを搭載したコンピュータでは、デフォルトで有効になります。Windows システムバイナリだけが、このオプションで DEP によりカバーされます。アプリケーションでは、アプリケーション互換性シムの生成およびアプリケーションへのシムのインストールにより、DEP プロテクションが有効になります。</li> <li>• <b>Opt-Out</b> — DEP がすべてのプロセッサで有効になります。ユーザーは、特定のアプリケーションに関する例外をシステムのプロパティで手動で生成することができます。あるいは、IT Pro および ISV は、アプリケーション互換性ツールキットを使ってオプトアウトにできます。</li> <li>• <b>Always On</b> — 例外なしで、完全に DEP によりカバーされます。</li> <li>• <b>Always Off</b> — ユーザーモード DEP はカバーされません。ドライバおよび Windows のコアカーネルバイナリは DEP でカバーされますが、その他のバイナリはカバーされているアプリケーションのセットには含まれていません。</li> </ul>
<b>Unlock Setup</b>	<p>このオプションで <b>Admin Password</b> を使って、セットアップオプションのロックを解除します。</p> <p><b>メモ:</b> このオプションが表示されるのは、Admin Password オプションが有効になっている場合だけです。</p>
<b>Admin Password</b>	<p><b>System Password</b> オプションでシステムへのアクセスを制限するのと同様に、このオプションは、コンピュータのセットアップユーティリティへのアクセスを制限します。</p> <p><b>メモ:</b> パスワードを削除するには、古いパスワードを入力して &lt;Enter&gt; を 2 回押します。</p>
<b>System Password</b>	システムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、新しいシステムパスワードを設定したり確認することができます。



<b>Password Status</b>	このオプションは、セットアップパスワードを使ってシステムパスワードフィールドをロックします。フィールドがロックされている場合、コンピュータ起動時に <Ctrl><Enter> を押してパスワードセキュリティを無効にすることができなくなります。
<b>Power Management</b>	
<b>AC Recovery</b>	コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを決定します。
<b>Auto Power On</b>	コンピュータが自動的にオンになるように設定します。選べるのは、every day または各 Monday through Friday です。 デフォルト設定は、 <b>Off</b> です。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。
<b>Auto Power Time</b>	コンピュータを自動的にオンにする時間を設定します。 時間は 24 時間形式 (時間:分) で表示されます。左右矢印キーを押して、数値を増減するか、日付と時間のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時間を変更します。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。
<b>Low Power Mode</b>	節電をする場合はこのモードを使います。
<b>Suspend Mode</b>	このオプションは、低電力モードで実行するサスペンド状態である <b>S1</b> 、およびほとんどのコンポーネントの電源は削減または切られるが、システムメモリはアクティブになるスタンバイ状態である <b>S3</b> です。
<b>Maintenance</b>	
<b>Load Defaults</b>	この設定は、コンピュータの工場出荷時のデフォルト設定を復元します。
<b>Event Log</b>	システムイベントログを表示します。
<b>POST Behavior</b>	
<b>Fastboot</b>	<b>On</b> (デフォルト) に設定されている場合、お使いのコンピュータは起動時に、特定の設定とテストを省略するのでより早く起動します。
<b>Numlock Key</b>	このオプションは、キーボード上の右端列のキーに関連しています。 <b>On</b> (デフォルト) に設定されている場合、各キー上部に表示されている数値および数学機能がアクティブになります。 <b>Off</b> に設定されている場合、各キー下部にラベルが付けられているカーソルコントロール機能がアクティブになります。
<b>POST Hotkeys</b>	このオプションでは、コンピュータ起動時に画面に表示されるファンクションキーを指定できます。
<b>Keyboard Errors</b>	このオプションは、コンピュータ起動時のキーボードエラーレポートを無効または有効にします。

## 起動順序

この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。



**注意：**起動順序の設定を変更する場合は、変更内容が削除されないように、新しい設定を保存します。

### オプション設定

- **Diskette Drive** — コンピュータはフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはフロッピードライブがコンピュータに取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。ドライブに CD がない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device** — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上角に F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB フラッシュオプションを起動メニューに追加します。



**メモ：**USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。お使いのデバイスが起動可能か確認するには、デバイスのマニュアルを参照してください。

### 一回のみの起動順序の変更

この機能を使うと、たとえば、フロッピードライブ、メモリキーなどの USB デバイスからコンピュータを再起動することができます。

- 1 USB デバイスから起動する場合、USB デバイスを USB コネクタに接続してください（49 ページを参照）。
- 2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 3 画面の右上角に F2 = Setup, F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（47 ページを参照）もう一度やりなおしてみます。

使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した、**Boot Device Menu** が表示されます。

- 4 デバイスを選択して <Enter> を押します。  
たとえば、USB メモリキーから起動する場合、**USB Flash Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。




**メモ：**USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。



**メモ：**セットアップオプションの起動順序オプションを使って起動順序を変更することもできます（79 ページを参照）。

### 次回からの起動順序の変更

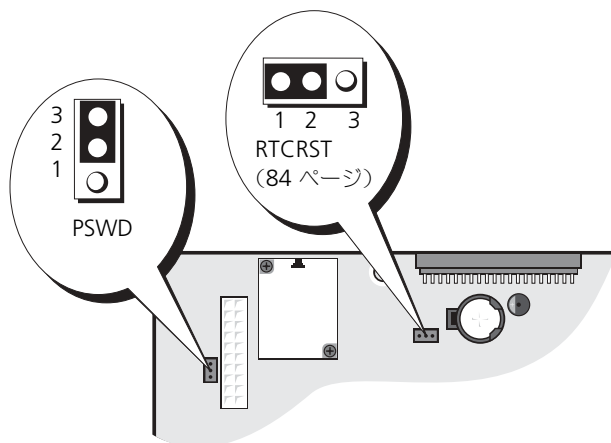
- 1 セットアップユーティリティを起動します（77 ページを参照）。

- 2 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。
-  **メモ**：後で元に戻すこともできるように、現在の起動順序を書きとめます。
- 3 デバイスのリスト内を移動するには、上下矢印キーを押します。
- 4 スペースバーを押して、デバイスを有効または無効にします（有効になっているデバイスにはチェックマークが付いています）。
- 5 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、<U> キーまたは <D> キーを押します。


## 忘れたパスワードの消去

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


- 1 「作業を開始する前に」（47 ページ）の手順に従って操作してください。




- 2 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパ (**PSWD**) の位置を確認し、ジャンパプラグを 2 番ピンおよび 1 番ピンに取り付けて、パスワードをクリアします。


 **メモ**：お使いのコンピュータは出荷時に、3 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパプラグが取り付けられています。

- 3 コンピュータカバーを閉じます（72 ページを参照）。
- 4 コンピュータとモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 5 コンピュータに Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします（47 ページを参照）。
- 6 モニターの電源を切って、コンセントから外します。
- 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- 8 コンピュータカバーを開きます（53 ページを参照）。
- 9 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパ (**PSWD**) を確認し（83 ページを参照）、2 番ピンおよび 3 番ピンにジャンパプラグを被せて、パスワード機能を再び有効にします。

- 10 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。
-  **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

## CMOS 設定のクリア

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 「作業を開始する前に」 (47 ページ) の手順に従って操作してください。
- 2 現在の CMOS 設定をリセットします。
  - a システム基盤の 3 ピン CMOS ジャンパ (RTCRST) を確認します (83 ページを参照)。
  - b ジャンパプラグを 2 番ピンおよび 1 番ピンから取り外します。
  - c ジャンパプラグを 3 番ピンおよび 2 番ピンに取り付け、約 5 秒待ちます。
  - d ジャンパプラグを 1 番ピンおよび 2 番ピンに取り付けます。
- 3 コンピュータカバーを閉じます (72 ページを参照)。
-  **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

## コンピュータのクリーニング



**警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### コンピュータ、キーボード、およびモニター



**警告：**コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- 掃除機のブラシを使って、コンピュータのスロット部分や穴の開いている部分、およびキーとキーボードの間などのゴミを注意深く取り除きます。



**注意：**洗剤またはアルコール液でモニター画面を拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する恐れがあります。

- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの帯電防止コーティング用に適した溶液を使ってください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を 3 対 1 で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかく清潔な布を使って拭きます。

この溶液に布を浸さないでください。また、コンピュータやキーボードの内部に溶液が入らないようにしてください。

### マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

- マウスの底部にある固定リングを左に回し外します。ボールを取り出します。
- 清潔な、糸くずの出ない布でボールを拭き取ります。
- ボールが入っているケージ内のほこりや糸くずを注意深く吹き飛ばします。
- ボールが入っているケージのローラーが汚れている場合は、消毒用アルコール（イソプロピルアルコール）を軽く浸した綿棒を使ってローラーの汚れを拭き取ります。
- ローラーが溝からずれてしまった場合、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- ボールと固定リングをマウスに取り付けて、固定リングを右に回して元の位置にはめ込みます。

### CD と DVD



**注意：**CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

- ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができません。



**注意：**円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。

- 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹼の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

## デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- [www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp)
- [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) (テクニカルサポート)
- [premiersupport.dell.com](http://premiersupport.dell.com) (教育機関、行政機関、医療機関、および中企業 / 大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート)

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国 (都市) 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E- メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本 (川崎)	Web サイト: <a href="http://support.jp.dell.com">support.jp.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: <b>001</b>	テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-198-226
国番号: <b>81</b>	日本国外のテクニカルサポート (Dimension および Inspiron)	81-44-520-1435
市外局番: <b>44</b>	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 (従業員数 400 人未満)	044-556-1465
	法人営業本部 (従業員数 400 人以上)	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上)	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

# 索引

## B

BIOS, 77

## C

### CD

コピー, 18  
再生, 16

CD および DVD のコピー, 18

### CD/DVD ドライブ

問題, 24

### CD/DVD-RW ドライブ

問題, 24

### CMOS 設定

クリア, 84

## D

Dell, 40

### Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 40

### DVD

コピー, 18  
再生, 16

### DVD ドライブ

問題, 24

## E

E-メール

問題, 25

## I

### IEEE 1394

問題, 27

## M

Microsoft ライセンスラベル,

7

## N

### NIC

ネットワークアダプタ, 51

## P

PC の復元, 43

### PCI Express カード

取り付け, 60  
取り外し, 63

## T

### TV

コンピュータの接続, 12

## U

### USB

デバイスに起動, 82

## W

### Windows XP

システムの復元, 43

スキャナー, 34

デバイスドライバの

ロールバック, 42

ネットワークセットアップ

ウィザード, 14

ハードウェアに関するトラブル

シューティング, 43

ハイパースレッディング, 22

復元, 43

プログラム互換性ウィザード,  
29

ヘルプ, アクセス, 8

ヘルプとサポートセンター, 8

## い

インターネット

接続, オプション, 14

接続, セットアップ, 15

接続, 説明, 14

問題, 25

## う

ウィザード

ネットワークセットアップ

ウィザード, 14

プログラム互換性ウィザード,  
29

## え

エクスプレスサービスコード, 7

エラーメッセージ, 26

診断ライト, 37

- お**  
オーディオ  
    サウンドを参照  
オペレーティングシステム  
    復元, 43
- か**  
カード  
    PCI Express, 59  
    サポートされているタイプ, 59  
    スロット, 59  
    取り付け, 60  
    取り外し, 63  
カバー  
    開く, 53  
    閉じる, 72  
画面  
    モニターを参照
- き**  
キーボード  
    問題, 28  
起動  
    USB デバイス, 82  
起動順序, 82  
    オプション設定, 82  
    変更, 82  
休止状態モード, 20, 22
- こ**  
コネクタ  
    シリアル, 51  
    ネットワークアダプタ, 51  
コンピュータ  
    応答しない, 28  
    クラッシュ, 28-29  
    クリーニング, 85  
    内蔵部品, 54  
    以前の動作状態への復元, 43
- さ**  
再生  
    CD, 16  
    DVD, 16  
サウンド  
    ボリューム, 34  
    問題, 34  
サポート  
    デルへのお問い合わせ, 86
- し**  
システムの復元, 43  
システム基盤, 55  
仕様  
    オーディオ, 74  
    拡張バス, 74  
    コネクタ, 75  
    コントロールおよびライト, 76  
    コンピュータ情報, 73  
    寸法, 77  
    電源, 76  
    ドライブ, 74  
    ビデオ, 74  
    プロセッサ, 73  
    メモリ, 73  
    環境, 77  
    技術, 73  
診断, 40  
診断ライト, 37
- す**  
スキャナー  
    問題, 34  
スタンバイモード, 20
- せ**  
設定  
    セットアップユーティリティ, 77  
セットアップ図, 7  
セットアップユーティリティ, 77  
    オプション, 79  
    画面, 78  
    起動, 77
- そ**  
ソフトウェア  
    ハイパースレッディング, 22  
    問題, 29-30
- て**  
ディスクのチェック, 25  
ディスプレイ  
    モニターを参照  
デル  
    お問い合わせ, 86  
デルサポートサイト, 8  
電源  
    オプション, 21  
    オプション、設定, 21  
    オプション、休止状態, 22  
    オプション、詳細設定, 22  
    スタンバイモード, 20  
    休止状態モード, 20, 22  
    問題, 32  
電源オプションのプロパティ, 21
- スピーカー**  
    ボリューム, 34  
    問題, 34



電源ライト  
状態, 32

電力  
管理, 20  
節約, 20

## と

ドライバ, 41  
識別, 41  
説明, 41

ドライブ  
問題, 23

トラブルシューティング, 40  
診断ライト, 37  
ハードウェアに関するトラブル  
シューティング, 43  
ヒント, 23  
ヘルプとサポートセンター, 8  
以前の動作状態への復元, 43

## ね

ネットワーク  
セットアップ, 13  
ネットワークセットアップ  
ウィザード, 14  
問題, 31

ネットワークアダプタ  
コネクタ, 51

ネットワークセットアップ  
ウィザード, 14

## は

ハードウェア  
Dell Diagnostics (診断)  
プログラム, 40

ハードウェアに関するトラブル  
シューティング, 43

ハードドライブ  
問題, 25

ハイパースレディング, 22

パスワード  
ジャンパ, 83  
消去, 83

バッテリー  
取り付け, 71  
問題, 23

## ひ

ビデオ  
問題, 35

## ふ

復元  
Windows XP, 43

部品の取り付け  
コンピュータの電源を切る, 47  
作業を開始する前に, 47  
奨励するツール, 47

プリンタ  
USB, 11  
ケーブル, 11  
接続, 10  
セットアップ, 10  
問題, 33

プログラム互換性ウィザード,  
29

## へ

ヘルプとサポートセンター, 8

## ほ

ボリューム  
調整, 35

## ま

マウス  
問題, 31

前面ドア  
取り付け, 52

マザーボード  
システム基盤, 55

マニュアル, 7  
オンライン, 8  
セットアップ図, 7  
検索, 7

## め

メッセージ  
エラー, 26

メディアカードリーダー  
取り付け, 65  
取り外し, 64  
使い方, 11  
問題, 27

メモリ  
4 GB 構成, 57  
DDR2 の概要, 56  
サポートされているタイプ, 56  
装着ガイドライン, 56  
取り付け, 57  
取り外し, 59  
問題, 30

## も

モデム  
追加, 67  
問題, 25

モニター  
TV の接続, 12  
拡張デスクトップモード, 13  
クローンモード, 13  
何も表示されない, 35  
画面設定, 13

見づらい, 36  
問題, 35  
問題  
CD ドライブ, 24  
CD/DVD-RW ドライブ, 24  
Dell Diagnostics (診断)  
    プログラム, 40  
DVD ドライブ, 24  
E-メール, 25  
IEEE 1394, 27  
以前の動作状態への復元, 43  
インターネット, 25  
エラーメッセージ, 26  
キーボード, 28  
コンピュータが応答しない, 28  
コンピュータクラッシュ, 28  
コンピュータのクラッシュ,  
    29  
サウンドおよびスピーカー,  
    34  
スキャナー, 34  
ソフトウェア, 29-30  
電源, 32  
電源ライトの状態, 32  
ドライブ, 23  
トラブルシューティングの  
    ヒント, 23  
ネットワーク, 31  
ハードドライブ, 25  
バッテリー, 23  
ビデオおよびモニター, 35  
プリンタ, 33  
ブルースクリーン, 29  
プログラムが応答しない, 29  
プログラムと Windows の  
    互換性, 29  
プログラムのクラッシュ, 29  
ボリューム調整, 35  
マウス, 31  
メディアカードリーダー, 27  
メモリ, 30  
モデム, 25  
モニターが見づらい, 36  
モニターに何も表示されない,  
    35

一般, 28  
画面が見づらい, 36  
画面に何も表示されない, 35  
診断ライト, 37

## ら

ライト  
    コンピュータの背面, 37  
    診断, 37